

追悼 染井佳夫先生

# 『石川家の人々』 を読む会 14年のあゆみ

---

©Iruma City

「石川家の人々を読む会」NEWS  
第1号～162号

---

「石川家の人々」を読む会

# 刊行によせて

## 第3代会長 齊藤祐司

「石川家の人々」を読む会を立ち上げ、当会の運営に多大なる貢献を尽くしていただいた染井佳夫氏が2021年10月17日に急逝されました。この活躍を記録にとどめ、追悼の意味を含めて本書『「石川家の人々」を読む会 14年のあゆみ』を刊行する運びとなりました。

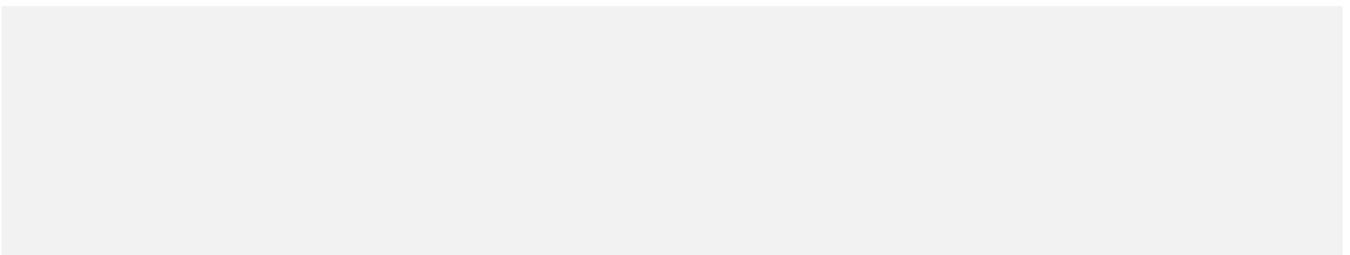
入間市教育委員会生涯学習課に当時在職していた染井氏と私や担当職員と伴に入間市に寄贈を受けた旧石川組製糸西洋館について、資料収集、研究と活用の検討していました。

この中で染井氏から私的に石川組製糸について研究する会を立ち上げないかとの話しが私に持ち掛けられました。ちょうど石川家の皆様によって2002年に刊行された『石川家の人々』があり、これを使用して研究し、会の名称も『「石川家の人々」を読む会』とし、石川一族の方々、入間市の文化、歴史に興味ある方々に声をかけ2009年に会の発足することになりました。初代会長は石川家一族の青木和子さんをお願いすることになり、染井氏は幹事として活躍して頂き、この後第2代会長としてご尽力いただきました。

会は染井氏ならではの行動力、知識、発想により運営や研究内容と研究の方向性の提示がなされ、盛り上がっていきました。また、会内部だけの活動のみならず、会による入間市生涯学習フェスティバルへの参加、染井氏による外部での講演会、シンポジウムなど講師などとしての参加など積極的な活動を行っていました。これも染井氏であってのこととされます。

当会は閉会することになりましたが、染井氏によって明らかになった石川組製糸の歴史や多くの人の心に刻まれた染井氏の活躍はこれからも残されていくものと思われまます。

本書の刊行にあたり、会員の皆様をはじめ本書の刊行にご協力いただきました多くの方々に厚く御礼を申し上げます。



---

## 目次

刊行によせて

『石川家の人々』を読む会の結成と続く活動 .....1

おもなできごと（年表） .....2

「石川家の人々」を読む会 NEWS .....6

会員一覧 .....182

思い出 会員の寄稿 .....183

掲載記事など .....188

編集後記

---

## 『石川家の人々』を読む会の結成と続く活動

染井佳夫（2代会長・故人）

2002年（平成14）7月5日、石川家に連なる安部正和・石川三郎・石川嘉彦（石川組製糸の創業者石川幾太郎氏の曾孫・本家当主）の各氏および多くの親族等協力者による大部の資料集『石川家の人々』が刊行されました。その頃までに石川組製糸に関して多少の掘り起こし—講演活動等を行っていた私も一冊戴きました。しかし現役校長としての勤務もあり、全640ページ近い大部だったため、なかなか活用まで至りませんでした。多くの親族の方々も同様ではなかったかと思います。

2009年（平成21）3月、金子中学校長を最後に定年退職した私は5月に市内の歴史愛好家や石川家の親族に呼びかけて『石川家の人々』を読む会を立ち上げました。創立第1回の例会は、たしか東町公民館の一室でした。第1期の会長は元星野女子高教諭で石川家親族の青木和子氏にお願いしました。私は幹事の一人として、『石川家の人々』を読む会ニュースの発行に携わり、例会は毎月1回報告者を立てて行うこととしました。熱心な会員の協力で、台風で流れた1回を除き必ず100回以上の例会が毎月続き、『…ニュース』も必ず発行されました。新型コロナウイルスの蔓延等により例会の持てない時期もありましたが、細切れではあっても例会は続けられています。また、私の大腸がん切除手術—入院により作業ができなかった122・23号を除いた136号まで、『…ニュース』の編集・発行は私が続けてきましたが、その後の再発—抗がん剤治療のため、現在では他の会員の協力により発行が続けられています。本会の取り組みの中間まとめともいえるのは2017年度（平成29）に“ALIT FESTA2017”として開催された「石川組製糸ものがたり展」への協力です。

1995年（平成7）の入間市博物館開館以降、まとまった企画展としては紹介されてこなかった「石川幾太郎と石川組製糸」をほぼ網羅的に展示することができたのは、会員でもある学芸員と石川各家の親族の皆さんとともに、私たち会全員の努力もあったものと自負しております。

---

本稿は、令和3年10月17日、満73歳で亡くなられた染井先生が、「自叙伝風のエンディングレポート」としてお別れの会で弔問者に配られた小冊子『観て 読んで 感じて/生きた 書いた 伝えた—楽庵自娛叙記—』から再掲させていただきました。石川組の研究は先生のライフワークでした。

## おもなできごと（年表）

年月日	例会回数	活動内容・関連事項
<b>2009年[平成21年]</b>		
4.10		『石川家の人々』を読む会のお知らせ」呼びかけ 齊藤祐司・染井佳夫
5.13	1	「読む会」10名でスタート。会長青木和子 幹事齊藤祐司、染井佳夫（庶務）（8/30～会計三浦久美子）以後東町公民館か久保稻荷公民館で毎月1回開催。
6.1		『石川家の人々』を読む会ニュース 第1号発行
12.11		例会兼歳末懇親会 /石川洋行楽蔵2階。
<b>2010年</b>		
3		「文芸入間」32号が石川組を特集
10.1		広報いるまが西洋館を特集。「読む会」も紹介される。
12.16	20	例会兼忘年会 /インド料理レストランジャイプール
<b>2011年</b>		
3月		東日本大震災。武蔵豊岡教会改築・新築の動きにあたり、当会会員など有志が集まって「入間市の文化遺産をいかす会」を結成。
5.8		入間市の文化遺産をいかす会と共催で、武蔵豊岡教会保存講演会を開催 講師は山形政昭大阪芸大教授・内田青蔵神奈川大学教授 /黒須公民館
5.14		『大地の園』ヒロイン「まりちゃん」のモデル増島満喜宅を訪問・調査
5月		飯能市南の関口なつ氏生家、旧吾野小学校、原市場小学校等現地踏査
11.5～6		久保稻荷公民館まつり（文化祭）に展示で参加
12.04		入間市生涯学習フェスティバルに初参加/産業文化センター
12.13	31	入間市の文化遺産をいかす会と合同でクリスマス会・忘年会/石川洋行楽蔵2階
12.22		会の活動が、埼玉新聞県西版「西方見聞録」で紹介される
<b>2012年</b>		
4.26	35	青木会長が退任、染井新会長に。例会を公民館から石川洋行楽蔵2階に変更
12.2		入間市生涯学習フェスティバルに参加
12.12		香川豊彦記念松沢資料館訪問
12.21	43	例会兼忘年会 /楽蔵2階

2013年		
6.14		染井会長が『石川家の人々』編集に尽力された石川三郎氏を甲府のお宅に訪問
12.1		入間市生涯学習フェスティバルに参加
2014年		
3~4月		会員の講演 所沢法人狭山支部（染井）・入間市立図書館（忍足）。養蚕部所蔵資料の調査/吉田・青木・染井。このころ、いき出版編「写真アルバム 狭山・入間の昭和」に石川製糸・豊岡大学・狭山茶関連史掲載（染井）
5月~		忍足ユミ会員が月例講座「シネマを読み解く」市立図書館主催
7月		旧石川組製糸西洋館が改修終えて一般公開開始。会員もボランティア参加
9月		武蔵豊岡教会が曳家・耐震改修を終えて献堂式
11.14		忍足会員が講演「石川信雄と斎藤史」市立図書館主催
12.7		入間市生涯学習フェスティバルに参加
12.11	67	例会兼忘年会 /インド料理ジャイプール
2015年		
1.23	68	例会会場を石川洋行母屋に変更
11.20		所沢織物文化講演会「石川組製糸の変遷と社会貢献」染井佳夫
12.6		入間市生涯学習フェスティバルに参加
12.16	79	入間市の文化遺産をいかす会と合同の忘年会/インド料理ジャイプール
2016年		
4.15		小江戸川越 RC 講演 染井
		染井会長が入間市文化財保護審議委員を委嘱される
8.28	87	石川忠雄家文書の整理と読解を始める（7回） /入間市博物館
12.4		入間市生涯学習フェスティバルに参加
12.21	91	例会後、入間市の文化遺産をいかす会と合同の忘年会 /串いち
2017年		
7.24	98	「石川組製糸ものがたり」展準備中間報告と討議 /石川洋行母屋
9.27	100	例会が 100 回目となる
10~12月		入間市博物館にて「石川組製糸ものがたり」展開催。会員も執筆や講演、展示案内等で協力。11/18 染井会員が講演。12/2 速水美智子氏の講演会を共催
10.21		忍足会員が石川信雄の評伝「天にあこがる」を出版
11.18	102	例会 100 回達成記念の会 /入間市博物館館庭 レストラン一煎
12月		入間市生涯学習フェスティバルに参加

12.11		入間市の文化遺産をいかす会と合同の忘年会/インド料理ジャイプール
<b>2018年</b>		
5.28	106	甲府出張例会 石川三郎・真弓氏 /山梨県博・舞鶴城公園・かいてらす
12.2		入間市生涯学習フェスティバルに参加
12.16		入間市の文化遺産をいかす会と合同の忘年会 /インド料理ジャイプール
<b>2019年</b>		
1.13		BS テレビ朝日「百年名家」で石川組製糸西洋館が紹介される
2.19		上武絹の道ネットワーク（佐滝剛弘氏ら）西洋館に訪問
5.19		自由学園南沢フェスティバル見学
9.25	120	例会が 120 回となる
12.1		入間市生涯学習フェスティバル参加。10年のあゆみ「読む会 NEWS」で振り返る
12.6		入間市の文化遺産をいかす会と合同の忘年会 /インド料理ジャイプール
<b>2020年</b>		
3～5月		新型コロナウイルス蔓延により例会を中止し、ニュースのみ発行
4月		西洋館の写真を使った手作りの「創立 10 周年記念しおり」が完成。会員に配布
6.28		新型コロナ感染防止対策として、豊岡ぶち大を会場に例会を開催
7.1		石川組製糸関連史料 4 点（石川家土地台帳・芳名帖・筑前石川組関係書簡群・石川忠雄家文書）が入間市の文化財に指定される
7.19		新型コロナの影響で、例会会場を、イルミン（市民活動センター）または黒須公民館に変更して開催。「労働婦人」読了
8～9月		新型コロナ感染拡大のため例会中止。染井会長が入院のため、ニュース作成を平田会員に引き継ぐ。例会中止の際は、会員の投稿など掲載して発行を続ける。
8.23～30		高麗神社にて「高麗偉人伝 石川幾太郎展」開催。染井会長が監修。8/23 染井会長の講演会 8/29 史跡散歩
10.25		3 か月ぶりの例会。テキスト「石川余滴」
11.23		平田学芸員から指定文化財「石川組製糸関係資料」や新寄贈資料の解説/博物館
12～2月		コロナ禍のため例会中止
<b>2021年</b>		
1.15		杉崎会員が町田とくと石川幾太郎のあゆみ『銀の糸と二つの十字架』を上梓
3.28		4 か月ぶりの例会。杉崎氏により著書からのレポート 6 回連続。

4.17	130	例会が 130 回となる
8~10月		コロナ緊急事態宣言・投票日で例会中止
10.17		染井会長逝去
12月		豊岡大学プロジェクトが『豊岡大学ものがたり』発刊。故染井会長や発智金一郎会員が執筆協力
<b>2022 年</b>		
1.23		2022 年度からの活動方針を決める。斎藤祐司氏が会長、奇数月に例会（黒須公民館）、偶数月にニュース発行へ変更。
2月		コロナ禍のため例会中止
4.24		小江戸川越「大地の園」の会ついで杉崎会員が講演
5.16		テキスト「原町市史」を読み始める
9.26	140	例会 140 回となる
10.17		故染井会長の 1 周忌。会員有志で墓参
11.21		読む会 14 年のあゆみと NEWS 合本を冊子にし、追悼出版とすることを決める
12月		旧黒須銀行のクラウドファンディングに会として寄付
<b>2023 年</b>		
3.20	143	2023 年度は例会を休止。冊子を刊行後に解散する方針を固める
4.27		会報 162 号発行。以降の活動は編集作業
10月		『14 年のあゆみ』を刊行し、会員・図書館等へ配布。会を解散



### 楽蔵での例会（2011 年）

左から 石川洋子・葛生・石川嘉彦・  
青木和子・斉藤次雄・斉藤祐司・岡野  
真幸・吉田茂雄



### 久保稲公民館文化祭（2011 年）

左から 染井佳夫・石川嘉彦・本多・  
岡野こずえ・吉田茂雄

# 「石川家の人々」を読む会

1

2009. 6. 1. NEWS

発行：読む会

## 「読む会」5/13 (水) に10人参加でスタート!!

かねてより、チラシ等で公募していた「資料『石川家の人々』を読む会」は5/13に第1回の集まりを持ち、10名の会員でスタートしました。当日の参加者は9名。代表に石川家親族の青木和子氏（元星野女子高教員）を選出し、庶務幹事は齋藤祐司・染井佳夫、会計は三浦久美子各会員に。5月26日現在、会員は13名、その内訳は男性8名・女性5名、年齢は25歳～88歳と超幅広。参加希望者は市生涯学習課齋藤 or 東町公民館染井他最寄りの会員（もしも存知の会員がお近くにいましたら）までお申し出下さい。

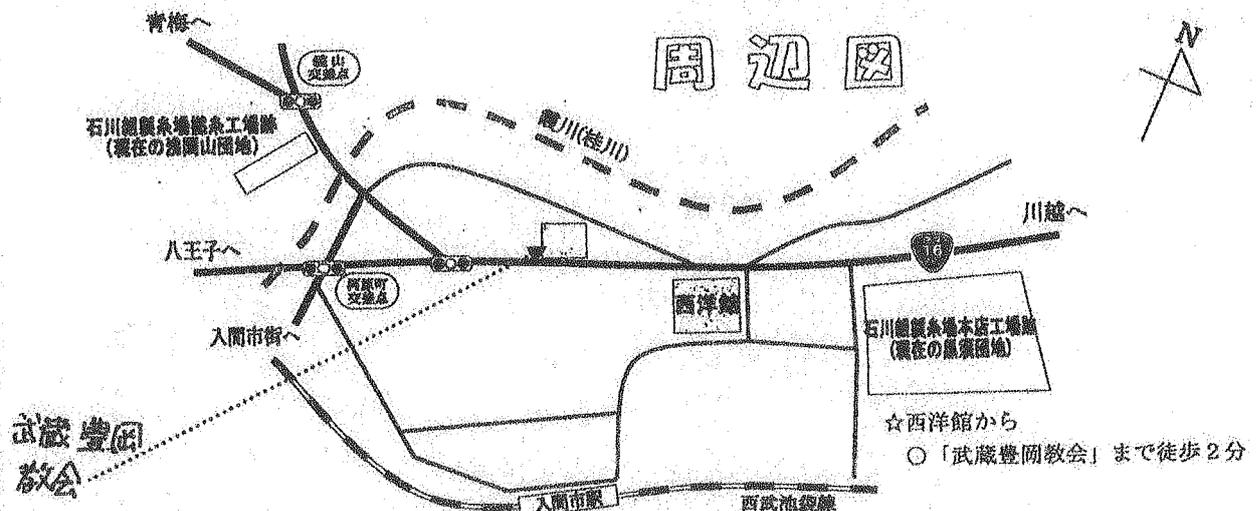
\*☎ 生涯学習課04-2964-1111 (内線4123), 東町公民館04-2963-7503

### 次回 (今月) 例会のお知らせ

1. 期日 6月17日 (水) 午後7:00
2. 会場 東町公民館・和室
3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記) の下記部分について  
レポーター: 「石川家中興の由来」(p. 35～38) / 青木和子  
「石川製糸興亡の概略」(p. 51～64) / 染井佳夫

\*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでください。また、p.34 以前の系図、p.40～50の「家憲・家訓」部分は該当ページを理解するためには有益です。資料としての活用をお勧めします。

石川製糸の迎賓館として大正12(1923)年に竣工した西洋館はココです!!



今年度の公開日は4/18 (土), 5/13 (水), 6/6 (土), 10/17 (土) です。(既に終了)

# 「石川家の人々」を読む会

# 2

2009. 7. 6. NEWS

発行：読む会

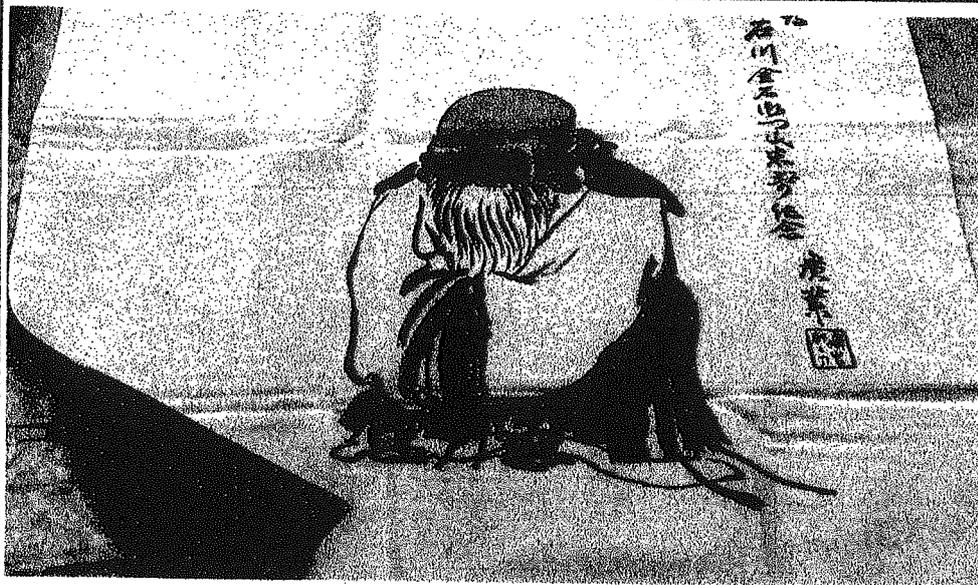
## 増える「読む会」会員、15人に拡大！！

6月17日（水）の第2回例会は、前号でお知らせした13人からさらに増えて、15人の参加で大変に盛り上がりました。創業者幾太郎氏の父、金右衛門氏の米寿を記念して（1918＝大正7年に）制作された絹布の風呂敷（石川製糸製の絹布に書家による描画と書入り）が会長の青木さんにより披露されると参加者より感嘆の声が上がりました。親族の方でも「見た覚えはあるけれども…」という品だけに大切に保存してください。下部に写真を掲載しました。

### 次回（今月）例会のお知らせ

1. 期日 7月28日（火）午後7：00
2. 会場 久保稻荷公民館 ・ 洋室A（今回は会場が変わります）
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について  
レポーター：「石川家とキリスト教」（p. 65～87）/Rep.石川山治氏  
「石川家の西洋館」（p. 89～100）/Rep.藤藤祐可氏

\*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでください。また、p.34以前の系図、p.40～50の「家憲・家訓」部分は該当ページを理解するためには有益です。資料としての活用をお勧めします。\*石川組関係の史料・関係者についての情報があれば、会にお持ちください。



◁ 石川金右衛門氏米寿記念の風呂敷。「為石川金右衛門氏米寿記念廣業」の書と落款がある。

裏地は赤、生地は石川組製生糸による絹布、松坂屋製。

\*次の例会で、すでにお配りしてあるコピー（全127頁）のほぼ8割を、読み終える予定です。次のコピー代として2度目の集金（1,000円）をさせて戴きます。（会計・三浦久美子）

# 「石川家の人々」を読む会

3

2009. 8. 1. NEWS

発行：読む会

## 「読む会」に16歳の高校生が会員加入！！

「石川家の人々」を読む会の第3回例会が7/28日（火）の19：00より久保稲荷公民館において行われました。会員中最高齢の石川山治氏が「石川家とキリスト教」について、生涯学習課の齋藤祐司氏が「石川家の西洋館」についての報告を行いました。両レポートとも、当事者にしか分からないような詳細な資料とともに興味深い事実を伝えるものでした。なお、会員の岡野夫妻の息子さん（16歳・高校生）が加入しました。

## 次回（4回）例会のお知らせ

1. 期日 8月28日（金）午後7：00
2. 会場 久保稲荷公民館 ・ 洋室A
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について  
レポーター：「第8章・私の見た石川製糸所本店工場」（p. 101～118）/石川嘉彦氏  
「第9章・労働婦人-製糸女工について-」（p. 119～128）/染井佳夫氏

\*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んできてください。また、p.34以前の系図、p.40～50の「家憲・家訓」部分は該当ページを理解するためには有益です。また、Ⅱ章以降に寄稿されたエピソードの中にも関連して理解を助ける事実が散見されます。

## 入間市にはじめてできた教会（天祐堂）は元酒蔵だった！！

### 天祐堂～武蔵豊岡教会の歴史とエピソード

- ① 明治23. 7. 川越・入間地区巡回教区としてスタート
- ② 明治26. 7. 入間巡回区独立。宮城牧師任命さる。27年熱心な信徒で酒造家の澤田一蔵氏の寄進で（酒蔵を移築）会堂着工。28年、天祐堂と命名。建築資金は敷地240坪を含み450円、場所は現原田病院敷地。天祐堂は旧牧師館として貯。
- ③ 大正8年10. 13. 教会の30周年記念会で石川組より敷地1000坪の献納を表明、大正10年4. 16. 宮崎牧師（17代）、石川幾太郎・同龍蔵・同民三他が建築委員に選ばれる。
- ④ 大正12. 5. 6. 新会堂（現武蔵豊岡教会）献堂式行われる。
- ⑤ 昭和6～8年鈴木鉄也牧師 この頃信徒より初の伝道（献身）者石川ハツ誕生
- ⑥ 昭和10～21年戦時体制下、信徒の出征等や国家総動員法施行等により宣教活動は困難を極める。また、昭和16. 6. 24には国内のプロテスタント33派が合同させられ、日基（日本基督教団）が設立となる。
- ⑦ 平成21年6月 教会120周年を祝う

（石川山治氏のレポートより抜粋・再録）

# 「石川家の人々」を読む会

4

2009. 9. 7. NEWS

発行：読む会

## 石川嘉彦氏「私の見た石川製糸所・本店工場」を報告し、語る！！

「石川家の人々」の第8章「私の見た石川製糸所・本店工場」を担当された石川嘉彦氏は、テキストに従いつつ子ども時代を過ごした旧石川組製糸所（当時は中島飛行機～豊岡物産）の建物配置等を思い出しながら「…人々」P.117の建物配置図を参考にレポートをされた。工場の絵はがきは往時を偲ぶ貴重な資料。

△ 100 畳敷き広間を持つ講堂

### 次回（第5回）例会のお知らせ

1. 期日 9月25日（金）午後7：00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋室A
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について  
レポーター：「労働教育」（p. 132～）/Rep. 齋藤次雄氏  
「石川家の伝統」（p. 135～）/Rep. 黒田毅氏  
「いとこ会」（p. 143～）/Rep. 石川山治氏

\* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでください。また、p.34 以前の系図、p.40～50の「家憲・家訓」部分は該当ページを理解するためには有益です。資料としての活用をお勧めします。

### 歌謡曲の、あるいは替え歌の歌詞に観る工女たちの気分

関口なつ著・そうぶん社刊「遙かなる石川製糸」p.38より

「東京行進曲」の替え歌から

- ・恋の寄宿舎 あの窓あたり 泣いて文書く人もある
- ・罰に責められ 悩みに更けて 明けりゃ工女の涙雨

\* 罰＝罰糸：品質が劣り、検査場で「本糸」にならなかった罰糸を挽くと、「注意」として賃金から5銭ずつ引かれた。

- ・工女は神様 見番は乞食 下廻しゃこの世の余り者

\* 下廻し：「追い回し」ともいう年少の工男 藤の追加等工女のサポートをする

- ・海老茶袴の女学生よりも 前がけ女工は 国の為

\* この歌詞には颯爽と時代を生きる女学生たちへの羨望等、工場内では「神様」の工女たちだけが屈折した感情が垣間見える

- ・着物はボロでも 心は錦 鼻は低くも 気は天狗 …等一旦工場から出て外の世界に出ると複雑な思いでいたようだ。

- ・話は仕事の邪魔するけれど 歌は仕事の妻となる …等歌の積極面を評価してレコードを流す工場もあったという

- ・「1 晴れて嬉しや夜明けの空に なびく工場の黒煙 朝も早うから くるくるくと 娘 揃って糸を挽く …… 4 可愛い娘は糸挽き盛り 娘盛りは二度と来ぬ さあさ挽け挽け国産糸 挽けよ身の為 国の為」（この「糸挽き娘」の作詞者は石川組の寄宿舎生活を体験して作詞したと言われている。）

# 「石川家の人々」を読む会

5

2009. 10. 9. NEWS

発行：読む会

「各家の父母必讀。子女にも讀ましめて、  
是に由りて家庭教育を為され勿し  
—石川同族教育主任者— (石川和助氏自署)」

第5回例会では「第10章、労働教育」については齋藤次雄氏がグンゼ（「郡是製糸」在京都府）や片倉製糸（信州）の企業内教育にまで視野を広げたレポートを作成、石川組製糸との比較を論じました。貴重で詳細な資料に私たちの視野も広がりました。「人々」所収の「労働教育」は、幾太郎の弟で自らを「石川同族教育主任」と位置づける和助牧師が大正12年に執筆したものです。論の性格としては石川家の家庭教育の指針と言えます。

「労働免許品」として、免状代わりに除草器（マ）を授与したり、「農業が體育に効果あることはボール遊戲の比にあらず…」の訓話等、「石川家の坊ちゃん育ちの後継者の育成に、…中略…感動を覚える。（阿部正和氏の「追記」より）」ものだったようです。

## 次回（第6回）例会のお知らせ

1. 期日 10月23日（金）午後7：00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋室A
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
4. レポーター：「石川金右衛門・たゝいの生涯と二人の回想」（p. 153～）/Rep.青木和子氏  
「石川幾太郎・せいの生涯と二人の思い」（p. 175～）/Rep.吉田茂雄氏

\*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んできてください。また、p.34以前の系図、p.40～50の「家憲・家訓」部分は該当ページを理解するためには有益です。資料としての活用をお勧めします。

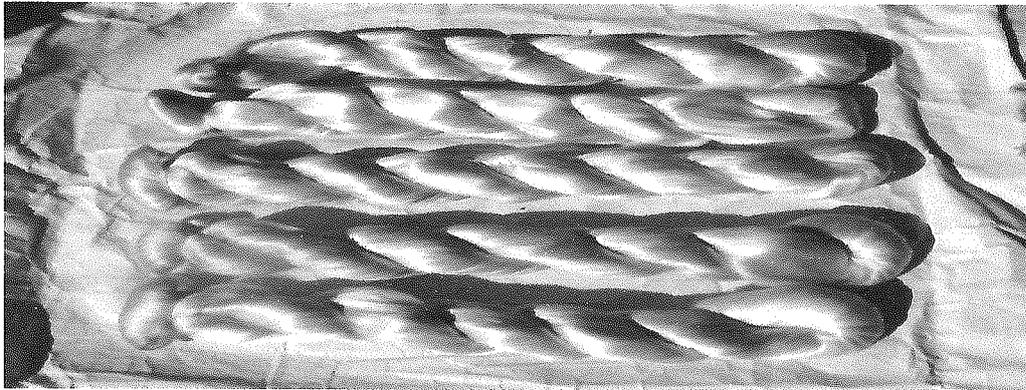
- 11章「石川家の伝統と継承」（黒田毅氏がレポート）では幕末に来日した宣教師たちが聖書の和訳において最も苦勞した語は「愛（アガペー）」で、「御大切に…」と訳したこと、石川家の伝統たるキリスト教信仰について紹介した後、信仰によるまとまりが内紛の無い企業活動を支えたのではないかと考えを述べた。
- 12章「石川家『いとこ会』」（石川山治氏がレポート）では、計4回にわたる「いとこ会」開催の歴史にふれられました。第1回は西洋館（H7.11.3）、第2、3回は川越第一ホテル（一族の伊藤幾造氏経営）内のレストラン光太夫で（H8.11.4, H9.10.27）、第4回は入間市内で石川恵子氏（故小佐次氏二女）経営のインド料理ジャイプール（H12.10.27）で行われました。

# 「石川家の人々」を読む会

6

2009. 11. 6. NEWS

発行：読む会



10月23日（金）に行われた第6回の例会では青木和子会長が、石川金右衛門・だいの両氏（石川組製糸の創業者幾太郎氏の両親）に関する興味深い謄写版刷り和綴じの資料・「相生の松」を紹介しつつレポート。さらに終了後には、石川嘉彦氏が「ひとつ」サプライズが…」と言いながら、石川組製の生糸（幾束かの生糸の太い束に縀りをかけたもの／写真参照）を披露されました。氏も実物を見たのは数日前とのこと。大変貴重な資料が見つかりました。

## 次回（第7回）例会のお知らせ

1. 期日 11月24日（火）午後7：00
  1. 会場 久保稻荷公民館・洋室A（前回の手違いは申し訳ありませんでした。今回は間違いありません。）
  3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
  2. レポーター： 3.「白井幸助・むめ（神田）-家について」（p. 201～）/Rep.三浦久美子氏  
4.「石川和助・千代子（小仙波）-家について」（p. 215～）/Rep.黒田毅氏
- \*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

- ・Ⅱ-1章「石川金右衛門・だいの生涯と二人への回想」（青木和子氏がレポート）では…石川家に伝わる前述の謄写版刷り・和綴じの資料「相生の松」（金右衛門氏に関する「武蔵野の老松」、だい氏に関する「野の百合」の二編からなる）を用いて両氏の生涯を年譜的に整理した資料を元に両氏の人となり生き活きと報告しました。「相生の松」は石川和助氏が中心となって編まれた資料。「野の百合」のタイトル等いかにもキリスト教的。人生を達観した晩年の金右衛門氏の“空中旅行記”等のエピソードは痛快です。
- ・Ⅱ-2章「石川幾太郎門・せいひの生涯と二人への思い」（吉田茂雄氏がレポート）では、幾太郎氏と妻せいひ氏の生まれて生きてきた時代を、幾太郎の師について「靄溪遺響（あけいきょう）」「翠軒自伝」等から、武州世直し一揆について「入間市史」他から、同時期（少し前）の製糸事業者について「狭山市史」から…と、広く資料を用いて紹介されました。石川津免氏の子・換之助氏が吉田氏の属する文化財同好会の会員だったことも判明。

# 「石川家の人々」を読む会

7

2009. 11. 28. NEWS 発行：読む会

石川和助の詠める歌2首（1938年、孫健二が生まれたのを喜んで）

- ・う孫健二 いやすこやかに生いたちて 名をもあげなむ家も栄えむ
- ・みやまいり 祖父も祈らむ この孫の心のひかり 世をてらすべく  
亀斎（宮参りの祈願に詠める）

石川千代子を偲んで石川和助の詠める歌

- ・代々に受けし 神の恵みは 浅からじ  
聖霊（みたま）の聖業（みわざ） 言い伝えなむ

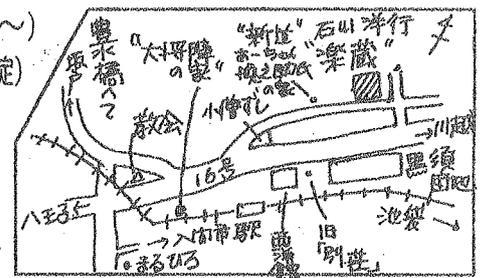
\*文久2年（1862年）6月5日石川和助は現在の入間市黒須に生まれ、昭和19年（1944年）11月16日空襲警報の鳴る中に昇天されました。亀齋の雅号を持つ歌人でもあった。妻千代子は新島襄の影響下に設立された安中教会の執事の娘として生まれ、和助氏を支え、共に厳しい信仰生活を送り、昭和7年（1932年）12月12日に63年の生涯を終えられました。

## 次回（第8回）例会兼歳末懇親会のお知らせ

1. 期日 12月11日（金）午後6：00
3. 会場 石川洋行敷地内「楽蔵」（いつもとは開始時刻も会場も変わります）
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
4. レポーター： 5.「繁田政五郎・れん（西浦一家のこども）」（p. 247～）  
/Rep.川島笑子氏と繁田百合子氏（予定）

\* 例会日が近いので報告者等は「予定」のまま発行しました。

- \* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んできてください。懇親会費：2500円程度の予定
- ★会場までの地図・駐車場は十分ありますが飲酒される方は車以外でどうぞ



- ・Ⅱ-3章「白井幸助・むめ（神田）一家について」（三浦久美子氏がレポート）では…  
「大地の園」を精読し、神田神保町における白井家（茶舗）の詳細な位置が過去・現状の写真や地図とともに紹介されました。（作品中で白井良助をモデルとした）白泉良輔・（内木村治の姉がモデルの）久仁子が住んだ“大将陣の新居”が、その後増島満喜（作品中のヒロイン“まり”のモデル）邸となり現在も入間市駅北に残っていること等が報告されました。
- ・Ⅱ-4章「石川和助・千代子（小仙波）一家のこども」（黒田毅氏がレポート）では、  
幼時から向学心旺盛だった和助氏が肉体労働をしては賃金で本を買い、勉学にいそしんだこと、繁田満義氏から学資の援助を受けたり、県費の給付を受けて師範学校で学んだことも紹介されました。その後、キリスト者・牧師として家族を信仰に導き、同信の妻千代子氏を安中より迎え、全国・海外で神学を学び、また伝道したこと。晩年は、目白に移り住み石川家一族の子弟が大学教育を受ける際の寄宿舎の役割を果たす等、石川家（製糸も）の精神的な支柱であり続けたことが報告されました。

沖ななも

春夏秋冬

歌暦

# 立冬 ①

# 山々の錦に郷土愛深め

石川信夫は1908（明治41）年、豊岡町、現在の人間市に生まれた。青年期にはモダンといふ新しい短歌の風潮を推進した一人だった。口語を使った、短歌的な叙情とはかなり違つて、モダンな歌になつていく。戦後間もない頃の歌だが、今読んでみても少しも古く感じがない。むしろ新鮮な美しさを感ぜないだろうか。

天国にもペンキ屋がいり、そ

のペンキ屋が焼くものどバケツに焼くまじりた、なまじりた美想は、いまだに無かった。このように言われてみると、山々の鮮やかな紅葉は、天国のペンキ屋だったのかと、なんとなく納得してしまふ。

誰がどうやって、あんなに山々を錦に染めるのか。ほんとは自然は不思議だ。人間以外のどつともない力をもったものの仕業としか感ぜない。

紅葉は日本ばかりではないだろうが、やはり日本の美の象徴のようである。

石川は戦時中、中国に派遣されていたこともあって、帰国してから日本の野山を改めて見直すような気持がもつたのかも知れない。「ニッポウの野山」と大きく書いたところあたりには、いかに郷土愛といつても特別な愛着が感じられる。外国から帰つたときは、内側からだけは見えないものが見えたりするところがある。

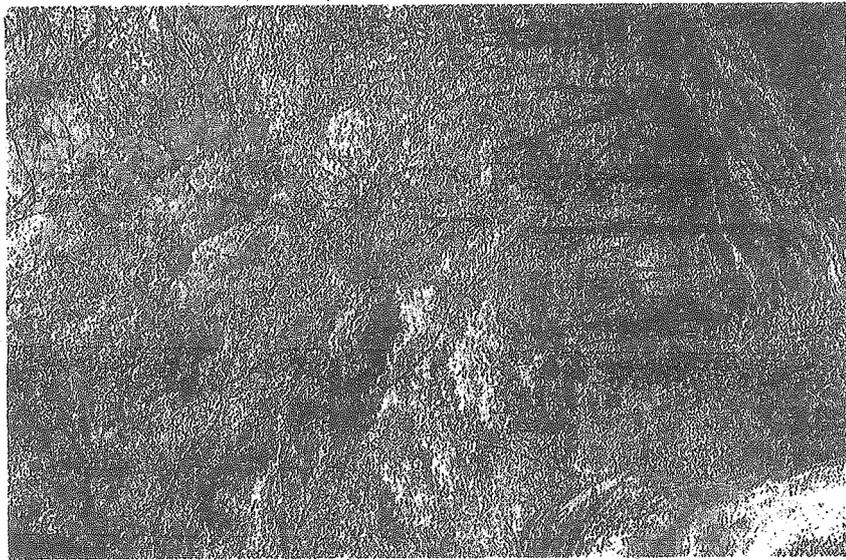
紅葉も書業も「しんぶん」と読む。紅葉は「もみぢ」とも読む。カエデの木のことをモミヅともいう。なんだかやわしい感じが、もともとはくすくすの木や草が秋になると白くつぼむを「紅葉」と言ったのだ。

古く時代には書業のほろが一般的で、平安時代以降に紅葉と書くことが多くなったといふ時代の好みもあつたかも知れない。書でも赤でも、あるいはどちらも交わつているからこそ美しいのかも知れない。

金まきは一枚もなし柿紅葉拾はは拾つて拾はは棄つ

ななも

天国のペンキ屋バケツに焼くまじりた  
ニッポウの野山目のまめる秋  
石川信夫



紅葉する木々＝秩父市（全日写真・古怒田潔）

沿線版への寄稿は〒440-8224・7952、Eメール (saitama@asahi.com) で。

\*石川信夫は、幾太郎の妹よりよとその夫保次郎の子  
早稲田大学仏文科に学ぶ歌人コクトーの翻訳も手がける  
戦後 草野心平・坂口安吾らと 飯能に遊ぶ

# 「石川家の人々」を読む会

8

2009. 12. 22. NEWS

発行：読む会

## 12/11石川洋行の由緒ある楽蔵（旧蚕蔵）で例会・忘年会をしました！



石川家らしくレール（武蔵野鉄道）、繭と組み合わせられた十字架（故石川小佐次の制作）と宴席 ▷

<sup>らくら</sup>  
◁楽蔵の2Fで例会を行いました。



### 次回（第9回）例会のお知らせ

1. 期日 1月15日（金）午後7：00
  2. 会場 東町公民館・洋会議室C（いつもとは会場が変わります）
  3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
  4. レポーター：Ⅱ-7. 「石川つめ（新道）一家について」（p. 297～）  
/Rep. 石川絃一郎 氏（喚之助氏の子／予定→都合がつかなければ青木和子氏）  
Ⅱ-8. 「石川仁平・まり・くに（川越）一家のことども」（p. 319～）  
/Rep. 岡野亘氏
- \*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

- Ⅱ-6章「石川龍蔵・きん（新家）一家について」（石川嘉彦氏がレポート）では…  
経済通で石川組製糸の経営の牽引車であった石川龍蔵氏が兄幾太郎氏とともに製糸場経営を開始した経緯や、妻きん氏のキリスト者としての生き方、さらには豊橋工場・伊勢工場（旧中村製糸場）の先進性等について石川嘉彦氏が報告されました。

龍蔵氏の（娘婿蹟次郎氏の）末裔は現在も豊橋市を中心に実業家として活躍中とのこと、また、嘉彦氏が（ロータリークラブの会議・研修等で？）ロスのホテルに入ったところ、たまたま、渡米中の（蹟次郎氏の子の）孝司氏と会った話や、前回作成した会員の寄せ書きを「人々」監修者の阿部先生（の奥様）が大変喜ばれたこと等も話題となりました。

☆☆

例会には久しぶりの参加者や、岡野真幸会員とその友人の高校生も参加してクリスマスも近い例会はなかなかの盛り上がりを見せました。

# 「石川家の人々」を読む会

9

2010. 1. 30. NEWS

発行：読む会

## “あーちゃん”の建てた 新道の家は大正モダン!?

石川絃一郎氏のお宅は祖母の津免さんが建てたもの。保存登記されたのは昭和5年だが建築はだいぶ前のことらしい。今でもモダンなその家は金右衛門・ダイ夫婦の住む別棟と渡り廊下でつながっていたという。別棟には歌人の石川信雄氏も一時住んでいたという。

△モダンな外観が今も人目を惹く“新道の家”。中央ドアのノブは小柄な津免さんに合わせて低い



## 次回（第10回）例会のお知らせ

1. 期日 2月19日（金）午後7：00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A（前回とは会場が変わります）
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
4. レポーター：Ⅱ－8. 「石川仁平・まり・くに（川越）一家のことども」（p. 319～）  
/Rep.岡野巨氏  
Ⅱ－9. 「石川保次郎・りよ（原ノ町）一家のことども」（p. 333～）  
/Rep.齋藤祐司氏

\*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

### ・Ⅱ－7章「石川つめ（新道）一家について」（石川絃一郎氏がレポート）では…

幾太郎の妹にあたる石川津免さん（“おつめさん”“あーちゃん”として知られる）は、川越の素封家の二男大畑松之助氏に嫁いだが、夫が早逝したため石川家に復籍した後、石川組本店の事務を助け、幼子の換之助氏を育てながら多くの工女の子どもたちもなにくれとなく世話をしていたようである。長じて換之助氏が尾道出身の田頭（たがら）テルさんと結婚した会場が現存する西洋館であり、その写真に写る西洋館内部の様子は貴重な資料となっている。レポーターの絃一郎氏は換之助氏のご子息。

☆☆

都市対抗野球大会の常連として有名だった豊岡物産（石川家〈源一郎氏〉が戦後残っていた石川家所有の土地に興した会社）の野球部に在籍した元プロ野球毎日オリオンズ小田野選手に関する記事を、野球好きの吉田茂雄会員が発掘・配付しました。“天覧第1号ホームランを打った男”の記事に、会ではしばしの野球談義も…

# 「石川家の人々」を読む会

# 10

2010. 2. 27. NEWS

発行：読む会

## 藤沢中生が石川製糸を学ぶ！ －総合的な学習を黒田会員が支援－

冷たい北風の吹く1月26日の午前中、本会会員の小椋先生が社会科を指導する藤沢中学校の生徒たち6名で、本会の黒田毅会員の指導・支援を受けながら西洋館、武蔵豊岡教会、石川洋行（幾太郎氏の子・故権吉氏一孫・故小佐次氏経営の会社/“本店工場”の遺構が一部に遺る）等を訪問し、石川製糸について学びました。訪問には小椋先生や“洋行”の現経営者石川洋子会員（故小佐次氏の子）も同席し、生徒たちはみな、黒田会員の話に真剣に聴き入って学んでいました。



△中央、コート姿が黒田会員、左端が小椋先生、背景は石川洋行

### 次回（第11回）例会のお知らせ

1. 期日 3月19日（金）午後7：00
  2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
  3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
  4. レポーター：Ⅱ－10、「伊藤義介・そで（仙波）一家について」（p. 361～）  
/Rep. 石川幾造氏（交渉中）  
Ⅱ－11、「石川民三・みち（第10代嫁）の生涯と二人への追憶」（p. 385～）  
/Rep. 石川嘉彦（民三氏の孫）氏
- \*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

・Ⅱ－8章「石川仁平・まり・くにの生涯と川越工場の歩み」（岡野旦氏がレポート）では…創業者幾太郎の弟にあたる石川仁平氏の、石川組が三番目に開設した川越工場での経営を、石川組製糸全般の経営の中に位置づけながら「川越市史」をはじめ多く資料の中から探索した多くのデータによって紹介された。参加した会員の中からは「生糸生産費構成」中の繰上資金割合の高さへや就業日数についての疑問（齋藤次雄氏）等も出され活発な議論が展開された。

・Ⅱ－9章「石川保次郎・りよ（原ノ町）一家のことども」（齋藤祐司氏がレポート）では…現在に至るまでの（南相馬市）原ノ町について紹介した後、原ノ町工場の規模の大きさ、経営から厚生施設・事業や研修会までも紹介。また、信雄（ペンネーム信夫）、博（同、謙治）、照子（同、石河輝子）等異彩・異才を放つ子女の活躍を紹介された。彼らの著書や発行誌（歌集「大白光」定期刊行誌「宇宙風」/信夫、小説集「水琴窟」/照子）も石川絃一郎氏や黒田毅会員から実物紹介された。10代～80代までの出席者計19名という盛会であった。

# 「石川家の人々」を読む会

# 11

入間市立図書館郷土史コーナーにもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行：2010.3.30

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、染井佳夫 (04-2936-3562)

## 「文芸入間」が “西洋館”と石川家 を、全12ページに わたって特集！

今年で第32号となる「文芸入間」が「ふるさとの文化・文化財を訪ねて—西洋館・石川家と人々—」を特集として発刊されました。西沢正太郎氏や一族の小関京子氏も文章を寄せています。生涯学習課や公民館で無料配付中。



「文芸入間」第32号表紙と特集（ふるさとの文化・文化財を訪ねて）扉

## 次回（第12回）例会のお知らせ

1. 期日 4月 22日（木）午後7：00
2. 会場 久保稲荷公民館・洋会議室A
3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
4. レポーター：Ⅱ-12. 「石川万吉・きよ（町屋）一家について」（p. 417 ~）

/Rep. 青木和子氏（本会長）

特別報告。「中学生は石川製糸をこう学んだ」/Rep. 小椋亮太（藤沢中教諭）氏

\* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

### ・Ⅱ-10章「伊藤義介・そで（仙波）一家について」（伊藤幾造氏がレポート）では…

（社）小江戸川越観光協会理事でもある川越第一ホテル経営者の幾造氏は茶器とお茶を扱う「茶碗屋」（屋号）から義父石川幾太郎の助言で屑繭の精練—出荷・輸出で会社を大きくした義介のユーモラスな一面を、そでに関しては、そのどっしりとした存在感、教会を通じての多彩な交流（久布白落実、城ノプラと）を紹介された。「1. 相場はやるでないぞ 2. 政治家とは付き合うでないぞ」から始まる「祖母の七つの教え」は圧巻。なお、幾造の名は幾太郎氏の名の一字を貰って付けられたという。

### ・Ⅱ-11章「石川民三・みち（第10代家）の生涯と二人への追憶」（石川嘉彦氏がレポート）から…

石川民三氏は創業者幾太郎氏の長男として明治13年、黒須に生まれた。しかし、その生涯は「二代目」のイメージからはかけ離れた苦難の道であったようだ。豊岡小学校を卒業した民三は進学+8することもなく、多忙な父の事業に従事した。優しい性格だったようで、大声で従業員を叱咤激励する幾太郎の後からそのフォローをしてみわるのが役回りだった。明治44年、31歳で群馬県島村（現伊勢崎市）から青山女学院

出の熱心なキリスト教徒で才媛のみちと結婚。正直で敬虔なキリスト者としての人生を歩んだ。

# 「石川家の人々」を読む会

# 12

入間市立図書館郷土史コーナーにもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2010.4.30

\* 発行責任者：会長・青木和子(04-2962-5776)、幹事・齋藤祐司(090-2326-7517)、染井佳夫(04-2936-3562)

## 珍

しい写真を石川本家に伝わる  
アルバムからご紹介します！

石川民三氏の二女・嘉久（後に千葉嘉久）さんが、通学していた自由学園で習い覚えた（当時は珍しかった）デンマーク体操を、本店の大講堂で大勢の工女さん達に教えています。1933年（昭和8年）前後の撮影と思われる。

写真提供者の小関京子氏（千葉正雄・嘉久ご夫妻の二女）の許可を得てご紹介しました。着物姿で体操をする工女さん達や畳敷きの大広間が時代を映していますね。



## 次回（第13回）例会のお知らせ

1. 期日 5月 21日（金）午後7：00
  2. 会場 久保稲荷公民館・洋会議室A
  3. 内容 「石川家の人々」（以後「人々」と略記）の下記部分について
  4. レポーター：特別報告。「中学生は石川製糸をこう学んだ」/Rep.小椋亮太（藤沢中教諭）  
Ⅱ-13.「石川虎三・なか（別荘）一家について」(p.439～) /Rep.黒田毅（虎三氏の孫）氏  
Ⅱ-14.「石川権吉・繁次（洋行）一家のこと」/Rep.石川洋子・山治氏
- \*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

### ・Ⅱ-12章「石川万吉・きよ（町屋）一家について」（青木和子氏がレポート）では…

町屋を創始した万吉が大東（金子村）中島家より母「きん」のいとこ石川せいの娘「きよ」の下に明治 43(1911)年婿入りした。二人の娘青木きくさん（青木和子会長の母）は現在もお元気。町屋（第5）工場は大正4（1915）年、滝澤製糸場を買い取り操業開始。1916年万吉 33歳で逝去。きよは5工場の女工監督者に。寸暇を惜しんで働く。工場全体の監督者はきよの父幾太郎、工場管理人はきよの義弟虎蔵（別荘）だった。5工場は製糸指導者の養成をする「石川組蚕糸講習所」を持っていた。1925年きよの叔父竜蔵・1934年父幾太郎・1938年長兄民三の逝去の中、1937（昭和 12）年故万吉の実家中島家より資金援助を受け、丸中製糸として再発足。1942年川越製糸株式会社に会社譲渡。石川運輸（株）を経て現在は（社）ケアハウス・マナ（きよの孫、きくの甥、忠雄氏が理事長）。第5工場の水槽は現在も残る。

・特別報告「中学生は石川製糸をこう学んだ。」（小椋亮太氏がレポート予定）は、報告予定者が家庭訪問のため欠席して次回に持ち越した。会の今後について話し合いを始める。

# 「石川家の人々」を読む会

# 13

入間市立図書館郷土史コーナーにもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2010.5.25

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

## 貴重な資料としての帯2点！



△内国勲業博覧会に出品された「石川」の名の入った西陣織の黒縹子帯。△西洋館のカーテン地を帯に作り直したものの。斬新なデザ「平和」と織り込まれている。工女さん達にも配られたのではないかとインが眼をひく。石川なか氏作・黒田みつ氏所蔵。

## 次回(第14回)例会のお知らせ

1. 期日 6月21日(月)午後7:00
  2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
  3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記)の下記部分について
  4. レポーター：Ⅱ-12. 「石川権吉・繁次(洋行)一家について」(p.463~)  
/Rep.石川山治(幾太郎氏の孫、権吉氏の子), 洋子(権吉氏の孫)氏  
Ⅱ-13. 「石川求助・い志(養蚕部)の生涯と二人への追憶」(p.485~)  
/Rep.石川信男(幾太郎氏の孫、求助・い志夫婦の子)氏
- \* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

・特別報告「中学生は石川製糸をこう学んだ」(小椋亮太氏がレポート)では…

本紙第10号でとりあげた藤沢中小椋学級の6人の1年生が「総合的な学習の時間」に石川製糸について、黒田毅会員の案内で西洋館、武蔵豊岡教会、石川洋行(蔵を含む)を見学して学んだ。見学后感動した中学生達が石川和助氏を通じて石川家がキリスト教に入信していく経過を劇化して発表。学年代表に選ばれたという。

・Ⅱ-13章「石川虎三・なか(別荘)一家について」(黒田毅氏がレポート)では…

現在の東大和市内鈴木家から早大商学部卒の経営的知識をかわれて幾太郎の娘・なかさんと世帯をもった虎三氏は本店工場の金庫番だった。書画骨董と煙草を愛した。債権者の追及を受け、息子の出征・抑留、川越境町での慣れない農業や比須(ビス=屑繭からとる真綿の原料)取りの労働等々の苦勞をして68歳で脳出血により亡くなった。嘉彦氏も思い出話の中で、“別荘”一族の仲の良さと、それは虎三氏の長男敬一氏の力によるものであったことを語られた。

# 「石川家の人々」を読む会

# 14

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行：2010.7.5.

\* 発行責任者：会長・青木和子(04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司(090-2326-7517), 染井佳夫(04-2936-3562)



△山梨県内で工女の実家へ(から)の送迎や募集にあたった出張員の記念撮影

## “工女艱”大船!

前号に引き続き、貴重な写真の紹介です。年末に操業を終えた工場から工女さんたちを引率して実家へ送り、翌年の労働契約を結び新規募集にも携わる山梨県担当の“出張員”です。甲府城跡の舞鶴公園(明治37年~開放)に集合しての記念写真です。70名近い人数に山梨出身工女さんの多さが分かります。

[資料写真は(株)石川洋行所蔵]

### 次回(第15回)例会のお知らせ

1. 期日 7月 29日(木)午後7:00
  2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A(今回は間違いありません)
  3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記)の下記部分について
  4. レポーター：Ⅱ-16. 「石川四郎・栄(池袋)一家について」(p.505~)  
/Rep.岡野家3会員  
Ⅱ-17. 「石川源一郎(第10代当主)と豊岡物産」(p.523~)  
/Rep.石川嘉彦(源一郎氏の子)氏
- \*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

・Ⅱ-14章「石川権吉・繁次(洋行)一家について」(石川治氏・洋氏がレポート)では…

洋行一家からは権吉氏の息子たち4名が出征した。長男力也は騎兵-戦車兵-通信兵となり、次男小左次氏、三男山治氏は学徒出陣、四男龍朗氏は戦死し、その公報は終戦の当日(S.20.8.15)に届いた。権吉氏は妻繁次の山梨の身内からブドウ液を仕入れ関東一円の教会に卸したり、長女ハツを横浜のフェリス女学院から武蔵野音楽学校-青山学院神学部に進める等子女の教育にも熱心だった。小左次氏はラバウルに駐屯中も教会に通った。

・Ⅱ-15章「石川求助・い志(養蚕部)の生涯と二人への追慕」(石川諤氏がレポート)では…

産繭と蚕種製造との違いを詳解した後、“養蚕部”は後者であったことを報告。八丈島・利島・安房鴨川にも土地を所有し蛾を交配させ蚕種をとっていた。求助氏は弓道・将棋・写真が趣味で戦前から家の中に暗室を持っていたというから趣味の域を超えていたといえる。他に蚕と繭の各種を写真で詳解する資料と蚕による繭づくりの各段階を解説。

# 「石川家の人々」を読む会

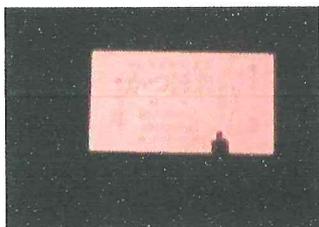
# 15

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2010.8.13.

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)



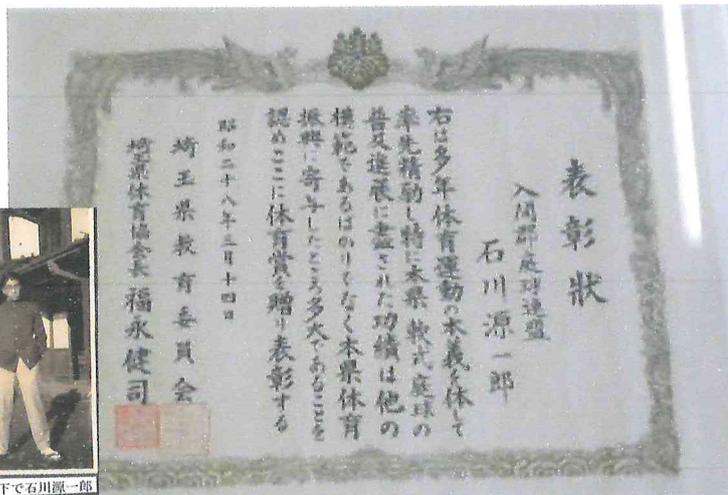
△豊岡町一大塚間の赤 (3等) 切符



△武蔵野鉄道廃線跡の煉瓦



本店工場煙突の下で石川源一郎



△若き日の源一郎氏 △源一郎の軟式庭球の普及尽力に対する県教委からの表彰状

## 次回 (第16回) 例会のお知らせ

1. 期日 8月 27日 (金) 午後7:00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記) の下記部分について
4. レポーター：Ⅲ-1. 「石川家外史・その1, 2」(p. 535 ~ 565)

/Rep. 染井 佳夫 (小関京子氏が多忙・不在のため染井が交代しました。)

\* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

協議：今後(「…人々」読了後)の会のあり方、会則、会計、とりくみ等  
7/29 配付の「一次案」(特に「要検討・協議事項」)をお持ちください。それらを元に1回目の話し合いを始めたく存じます。

- Ⅱ-16章「石川四郎・栄(池袋)一家について」(p. 505 ~) (岡野一家レポート) では…  
全26ページに亘る大部な資料を作成し報告がなされた。報告準備のため高校生の真幸君は浦和に2度、都心の中央図書館に1度(それも自転車で)行ったとのこと。石川組東京事務所のあった池袋駅東口の詳細な地図(根津家の広大な土地があったこと等も分かり面白い)も挿入されている。人物、事業、トラブル、鉄道遺跡・遺物等広い視点からまとめられた労作であった。関連して、黒田毅氏から武蔵野鉄道(豊岡-大塚間)の3等切符(赤切符・上部写真参照)の提示があった。
- Ⅱ-17章「石川源一郎(第10代当主)と豊岡物産」(p. 523 ~) (石川嘉彦氏がレポート) では…  
昭和10年から昭和・平成(特に戦後)にかけて活躍された父源一郎氏について報告された。事業家としてはすでに製糸業から離れ、精密機械(治具ゲージ)に活路を見出したこと。他、特にテニス・野球といったスポーツ振興に力を入れたこと、ふれあうことの少なかった父親だったが人生の節目はとても大切にしてくれたこと等を報告された。

# 「石川家の人々」を読む会

# 16

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行：2010.9.5.

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

## 幾太郎氏と渋沢栄一翁の交流を物語る卒業記念写真が、ても、なぜ…??



\* 東京都北区王子飛鳥山にある青淵文庫（渋沢翁を師と慕う実業家たちの会専門社の会員が翁の誕生日に贈った建物）前における卒業記念写真が世田谷にあった海外植民学校の校長崎山比佐衛氏から幾太郎氏宛てに送られていました。写真中にその関係を示す人物が？お気づきの方はご連絡を！

中央前西座員 問流 澤子 爵 (當年九十一歳)

流澤子爵貞後校長崎山比佐衛

第十三回卒業記念撮影(流澤邸青淵文庫前)職員及卒業生

### 次回 (第17回) 例会のお知らせ

1. 期日 9月 24日 (金) 午後7:00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記) の下記部分について
4. レポーター：Ⅲ-3. 「石川製糸をめぐる話題」(p. 567~580)

/Rep. 岡野こずえ氏

\* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでください。

・Ⅲ-1, 2章「序章」「石川家を巡る話題」(染井佳夫氏がレポート) では…

該当する章の中に登場する64名の人物についての簡単な紹介と36枚の写真を、プロジェクターで投影しました。紹介された中には石川家一族中の人物の他、青山学院で和助氏と同窓で第8代神戸市長にもなった“船成金”の勝田銀治郎氏やキリスト教に基づいた社会運動家で武蔵豊岡教会や川越教会でも伝道師として働いた城(じょう)のぶ氏、戦後総理大臣候補としても名を挙げられたキリスト教作家で西洋館を訪ねて来られた賀川豊彦氏等がいました(本号掲載の写真も参照されたい)。

\* 報告終了後は今後行いたい活動について話し合いが行われました。次回も継続予定。

\* 「市報いるま」が10/1号で“西洋館”特集を組み、本会の活動も2段組で紹介される予定です。

# 「石川家の人々」を読む会

# 17

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行/2010.10.6

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)



## 石川本家に伝わる”芳名帳”が語る 西洋館を訪れた多彩な人物たち!

例会で石川嘉彦氏が石川本家に伝わる「芳名帳」を披露。「貧民街の聖者」とも呼ばれたキリスト教社会改良家でノーベル平和賞候補にもなった賀川豊彦氏 (1924.28 年に来訪) をはじめ多彩な人々の来訪記録でした。次号以降でも△紹介を続けます。



△西洋館を訪れた賀川豊彦氏 (右) ▲「芳名帳」中の賀川氏の記帳 △「芳名帳」表紙

### 次回 (第18回) 例会のお知らせ

1. 期日 10月28日 (木) 午後7:00
  2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
  3. 内容 「石川家の人々」(以後「…人々」と略記) の下記部分について
  4. レポーター：Ⅲ-4「石川家外史 その4その他の話題」(p. 581~617)  
\*特に豊岡大学に関するお話となる予定です。/Rep. 齋藤祐司 氏他 (予定)
- 11月例会の内容「…人々」は一部(「Ⅱ-5・西浦」)以外読了となるため。また、12月例会を”忘年会を兼ねた特別例会”とするかどうか、についても話し合います。  
\*お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んでみてください。

・Ⅲ-3「石川製糸をめぐる話題」(p. 567~580) (岡野こずえ氏がレポート) では…  
特に「石川組に関する歌」を取り上げて、その作詞者・作曲者等について調べられたことの報告が、ありました。その上で(「…人々」中に) 譜面のあるものについては演奏と歌唱が披露されました。また、後の章(p.593~p.595)に紹介される「豊岡町町歌」について、譜面がなかったにもかかわらず、お仕事を通じて知り合ったおばあちゃんが「その歌を覚えてる」と知って、ていねいな聞き取りとともに歌ってもらった、その録音も披露されました。その他、「…人々」中に散見された賛美歌(石川家ご先祖の葬儀等で歌われた記録等)のすべてをリストアップした資料も提供されました。

10/16 (土) は

西洋館の公開日です。9:00~16:00・予約不要  
お知り合いで未見の方がいらっしゃったらお誘いください!

10/19の講座《お手伝いボランティア》

青木会長・吉田茂雄さん・石川あさ子さん・齋藤次雄さんが参加していただけます。

# 「石川家の人々」を読む会

18

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行：2010.11. 4

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

石川本家に伝わる”芳名帳”が語る

## 西洋館を訪れた多彩な人物たち! -2-

浄土真宗・大谷派第23世門主

### 昭和12. 4. 5. 大谷光照氏も来訪!

前号に引き続き「石川家芳名帳」中より、来訪した著名人についてご紹介します。昭和12年に26歳で来訪した大谷光照氏は、浄土真宗大谷派(本山：東本願寺)23世門主として戦前・戦中・戦後の50年間にわたって教団を率いた仏教者です。戦前・戦中はそれまでの宗風を放棄し、国家神道とも結びついた「戦時教学」を推進したことが知られています。来訪に何か大きな意味があったのか、それともテニスという趣味が共通で1歳違いの源一郎氏を訪ねたのか、等々は不明です。

昭和十二年四月五日

大谷光照

無別道

### 次回(第19回)例会のお知らせ

1. 期日 11月30日(火)午後7:00
  2. 会場 久保稲荷公民館・洋会議室A
  3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記)の下記部分について
  4. レポーター：Ⅱ-5. 「繁田政五郎・れん(西浦)一家のことども」(p. 247~264)  
/Rep. 青木和子氏(会長)が繁田百合子氏からの聞き取り、資料資料借用をして行う予定です。
- \* 忘年会・クリスマス兼ねた第20回12月例会の日程を決めます。第3(2)週の都合を調べてきて下さい。  
\* お配りしてある「人々」のコピー等で該当ページは読んできてください。

・Ⅲ-4章「石川家外史 その4その他の話題」(齋藤祐司氏がレポート)では…

繁田武平町長が町長退任後に、建設・開講を主導した豊岡公会堂および成人教育の場としての「豊岡大学」は、ともに氏の類いまれな先見性を示すとともに、入間市(当時「豊岡町」)が全国に先駆けて展開した生涯学習でした(当時信州上田をはじめとして小作農と知識人たちが結びついて展開された「自由大学」運動もありましたが、豊岡大学はその対極をなすものでした)。レポートでは、豊岡大学が〈日本弘道会黒須支会〉〈黒須相助組合-黒須銀行〉〈財団法人・豊岡積善会〉によって一体的に支えられながら大正14年から昭和14年まで運営され、25回の講座が開催されたこと等が、「繁田武平と豊岡大学に関する一考察」(大野晴代著)や「翠軒自伝一上・下巻一」(入間市史調査集録4・5号)、「豊岡公会堂史」等の資料を駆使して明らかにされました。豊岡大学の講師一覧を見ると、犬養毅、尾崎行雄(愕堂)、後藤新平といった政治家に加え、徳富猪一郎のような言論人、荒木貞夫、小笠原長生のような軍人も目立ちますが、羽仁もと子、大妻コタカ、河井道子のような女子教育者・キリスト者も多く来講しています。黒須銀行(「道徳銀行」と顧問の渋沢栄一に別称された)とともに更なる研究が望まれます。

# 「石川家の人々」を読む会

19

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行：2010.12.6

\* 発行責任者：会長・青木和子(04-2962-5776)、幹事・齋藤祐司(090-2326-7517)、染井佳夫(04-2936-3562)

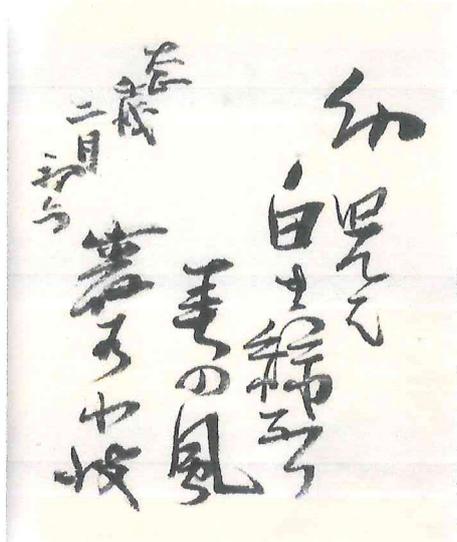
石川本家に伝わる”芳名帳”が語る

## 西洋館を訪れた多彩な人物たち! -3-

小説家・童話作家(1870～1933)

### 大正11年2月 巖谷小波氏が来訪!

巖谷小波氏は明治3年、東京生まれ。杉浦重剛の私塾に学び、尾崎紅葉の硯友社同人として小説を書き、1891(明治24)年には「黄金丸」を発表して創作童話の創始者として知られていました。翌年には「少年世界」を創刊し、また、「少女世界」「幼年世界」などを主宰し、毎号創作童話を発表しました。「幼児は白き糸なり春の風」の記帳でも分かるように、俳人としても知られていました。



△「芳名帳」中の小波の記帳

### 次回(第20回)例会のお知らせ

1. 期日 12月16日(木)午後7:00
  2. 会場 インド料理ジャイプール(公民館ではありません)
  3. 内容 「石川家の人々」(以後「人々」と略記)の下記部分について
  4. レポーター:「西洋館と石川家の人々」(別に資料を配付、テキストは不要。)/Rep.石川嘉彦氏・染井佳夫氏
- \* 1月以降の例会では、①繁田翠軒についての資料、②「遙かなる石川製糸」(関口なつ著・そうぶん社刊)、③「大地の園」(打木村浩著・偕成社刊)等について学ぶことが話し合いで決まりました。「遙かなる…」(新刊書としては入手不可)、「大地…」(全4巻)の入手努力をして下さい。できなかった方は有償コピーします。

・Ⅱ-5章「繁田政五郎・れん(西浦)一家のことども」(p.247～264。青木和子氏・岡野こずえ氏がレポート)では… 繁田仲右衛門(西浦・繁田家)とふく(石川家より嫁ぐ)の四男・政五郎(1860～1921 西浦・繁田家を継ぐ)とれん(石川家より嫁ぐ/幾太郎の妹)の二男・豊次郎(1893～1957)・ふさ夫妻(1896～1984 豊次郎の従姉妹)の始めた茶舗(「武蔵園繁田茶店」)を今も鎌山で経営する繁田百合子氏と川島笑子氏(繁田政五郎・れんの孫)を訪問し、聴き取りの上、両家所蔵の多くの貴重な資料をお借りして、例会で紹介された。特に、百合子氏の義母・ふさ女の手になる「手紙差出記入之帳」には、甲府市橋町(昭和28年までは地名存在を確認。市教育委員会がおかれる等中心地の一角を占めていたようだ)に石川組の出張所の存在が窺える記述がある。募集担当の出張員(70名ほど。本紙第14号参照)の定宿に設置していた可能性もあるが、常駐職員の有無等も調べてみる価値があると思われる。また、百合子氏の夫隆治氏の出生に対するお見舞い・お祝い品と贈り主を書き上げた「産見舞受帳」も、繁田豊次郎家の交流範囲や贈られていた品物(綿布や砂糖が目立った)等当時の世相が知られる面白い史料であった。これらをはじめ貴重な事実がお二人により報告された。(文責・染井)

# 「石川家の人々」を読む会

# 20

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2010.12.23

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

石川本家に伝わる”芳名帳”が語る

## 西洋館を訪れた多彩な人物たち！-4-石川愛陸軍中將

戦争末期に訪れた軍人たち①

石川愛中將(明治27-平成2)は航空士官学校・陸大卒。今次大戦では第3航空軍第九飛行団長として南方に出動。終戦時には第51航空師団(航空総軍)長として岐阜に展開し、「本土決戦」に備えた。(「陸軍将官辞典」より抜粋)



可憐別離一合煙  
昭和二十一年七月於修武甚  
陸軍中將石川愛

芳名帳のページいっぱい描かれた椰子の木の絵が南方での経歴を物語っている。

### 次回(第21回)例会のお知らせ

1. 期日 1月28日(金)午後7:00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
3. 内容 「一夢二十六年」(繁田武平著)について
4. レポーター: 吉田 茂雄 氏

\* 前回(12/16)にお配りしてあるコピーを讀んできてください。欠席されてお持ちでない方はALIT(Tel 04-2934-7711)の三浦さんまでご連絡ください。

その他繁田武平、石川組製糸等に関する配布資料があれば20部程度お持ちください。

・「西洋館と石川家の人々」(染井佳夫氏がレポート)では…

「西洋館と石川家の人々」と題して概括的な報告がパワーポイントを使って行われました。今年になって新たに石川本家や”洋行”からお借りして記録された珍しい写真も紹介されました。また、石川洋行に保管されていた「石川家土地台帳」をデータ化して一年ごとに土地所有高の推移を”山林””農地””宅地”の別に集計した表とグラフも提示されました。

また、”和助と埼玉県の廃娼運動””石川家芳名帳に見る来訪者たち”等今後の興味ある研究方向を示すものでした。3月刊行予定の「ALIT研究紀要」にもやや詳しく収録の予定です。ぜひ、ご覧ください。

まだ、「大地の園」をお持ちでない方へ…①インターネットで「日本の古本屋」サイトを開いて、②中央上部の「古書検索」欄に書名(「大地の園」)を打ち込んで③「GO」をクリックすると全国の古書店に在庫する「大地の園」の一覧と価格が出ます。あとは④会員登録をしてサイト上で申し込むだけで本と振り込み用紙が送られて来ます。ハードカバー版と文庫版の違いや「天の園」も含む10巻か「大地の園」4巻かにもご注意を!

# 「石川家の人々」を読む会

# 21

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 2. 7

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

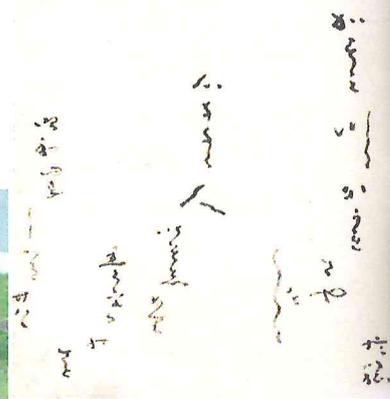
石川本家に伝わる”芳名帳”が語る

## 西洋館を訪れた多彩な人物たち！-5-

### 豊岡の里を歌った国文学者・佐々木信綱氏

昭和4年11月28日の日付のある記帳には、「かすみ川

ながれさやけし 心よく 人いそしめり 豊岡のさ登」の歌を詠んで記している。氏の歌碑は石川幾太郎によって豊岡公会堂の近く（現豊岡団地付近）に建立されたが、現在は市民会館脇の



粕谷義三氏の銅像の隣に移されている。

△幾太郎が建立した佐々木信綱の歌碑

△歌を記した佐々木信綱の記帳（「石川家芳名帳」）

## 次回（第22回）例会のお知らせ

1. 期日 2月21日（月）午後7：00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
3. 内容 「大地の園」（打木村治著）第1巻
4. レポーター：齋藤 次雄 氏

\*お持ちでない方は「大地の園」を購入するか図書館等から借りて読んできてください。市立図書館をはじめ、小学校の図書室にあります。その他、石川細製糸等に関する配布資料があれば20部程度お持ちください。

・「一夢二十六年」（吉田茂雄氏がレポート）では…

報告者の吉田茂雄氏は、入間市史調査集録にある繁田武平の略伝や「霽溪遺響（あけいきょう）」等を用いて繁田満義—武平の個人史・家族史を明らかにし、武平が豊岡町長になった経緯や事績について詳細なレポートを行われました。武平が年額200円の町長報酬を当初受け取らず、（県がそれを認めなかったため後には全額を銀行に預金して）、後に町の土木費に寄付し、高倉前坂の工事費に充当していることを紹介。また、繁田家の系図を作成され、その結果、親族・姻族中から多くの著名人が出ていることも知れました。

この例会に会員の三浦久美子氏から工女だった横田のぶ氏の「石川組勤儉貯蓄会」「同補助部」「同愛友会」通帳コピーが資料提供されました。大変貴重な資料です。

まだ、「大地の園」をお持ちでない方へ…①インターネットで“日本の古本屋”サイトを開いて、②中央上部の“古書検索”欄に書名（「大地の園」）を打ち込んで③“GO”をクリックすると全国の古書店に在庫する「大地の園」の一覧と価格が出ます。あとは④会員登録をしてサイト上で申し込むだけで本と振り込み用紙が送られて来ます。ハードカバー版と文庫版の違いや「天の園」も含む10巻か「大地の園」4巻かにもご注意を！

# 「石川家の人々」を読む会

# 22

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

## NEWS

発行：2011. 2. 25

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

石川本家に伝わる”芳名帳” …… には記帳がありませんが

## 石川家を訪れた多彩な人物たち！—通算6—

石川家のアルバムの中に頻繁に登場する水兵服姿のハーディ一氏です。氏はペリー提督の浦賀来航（嘉永6・1853年）の際、一水兵として来航しました。熱心なキリスト教徒として布教等のためにメソジスト教会の関係者とともに来日したようです。1917（大正6）年、米国教会幹部のハリス氏とともに石川家と豊岡教会を訪問されています。



### 次回（第23回）例会のお知らせ

1. 期日 **3月25日（金）午後7：00**
2. 会場 **久保稻荷公民館・洋会議室A**
3. 内容 **「大地の園」（打木村治著）第2巻**
4. レポーター：**吉田 茂雄 氏**



\*お持ちでない方は「大地の園」を購入するか図書館等から借りて読んでみてください。市立図書館をはじめ、小学校の図書室にあります。その他、石川組製糸等に関する配布資料があれば20部程度お持ちください。

・2/21「大地の園」第1巻（齋藤次雄氏がレポート）では…

報告者の齋藤次雄氏は、第1巻を精読して章毎にタイトル（章題）についての疑問と解釈を提出しました。また、作中に登場する“丸川家”の人々と現実の石川家の人々を対照させた系図をレジュメ中に作成して示しました。これは、館内に「大地の園」と一緒に展示する価値のある図だと思えます。た、作中で主人公の河北保が乗った鉄道馬車について、狭山市立博物館にある鉄道馬車の写真を示し、次いで入間川駅（現狭山市駅）から青梅、飯能へ向かう鉄道馬車のコースについて、持参した大地図中に自ら歩いて調べた（推定）コースを示しました。

**6月例会以後のテキスト・「遥かなる石川製糸」（絶版）全200頁程を1冊500余円（概算予定）で用意します。希望の方は次回例会（3/25 金）に三浦さんまでお申し出ください。また欠席予定の希望者は、当日までに会計担当の三浦さん（2934-7711）までご連絡を！**

また、「大地の園」をお持ちでない方へ…①インターネットで「日本の古本屋」サイトを開いて、②中央上部の“古書検索”欄に書名（「大地の園」）を打ち込んで③“GO”をクリックすると全国の古書店に在庫する「大地の園」の一覧と価格が出ます。あとは④会員登録をしてサイト上で申し込むだけで本と振り込み用紙が送られて来ます。ハードカバー版と文庫版の違いや「天の園」を含む10巻か「大地の園」4巻かもご注意ください！石川嘉彦氏のようにネット・オークションも要チェック！

## 特別編集//武蔵豊岡教会とメルル・ヴォーリス

第1面に紹介したハーディー氏が訪れたのが現武蔵豊岡教会の前身・扇町屋の天祐堂です。武蔵豊岡教会様より貸していただいた天祐堂の創建時および現在の教会堂献堂時の貴重な写真を紹介します。



△ 1895(明治28)年開設直前の天祐堂  
大正期?の天祐堂と信者たち▷

\*右上の写真中央和服の男性が石川民三氏(1880年生)のようなので明治末~大正初期頃の撮影と思われる。地形的特色からみて、位置は現原田病院~駐車場~豊岡高校を結ぶ段丘の上下だろう。\*天祐堂は熱心な信者であった藤澤村の酒造家澤田一蔵氏の提供した旧酒造庫を解体した材木から成った。敷地(240坪)代50円、建築および設備費が350円かかったという。



△会堂竣工時の写真(撮影は所沢の喜多川写真館)  
◁献堂式(1923年5月6日)当日の武蔵豊岡教会

石川幾太郎によって**南堂**された新会堂は敷地代・建築費は計24,105円05銭で、当時の平均賃金で換算すると石川組製糸で女工100人を1年間増員できるほどであった。この設計にあたったメルル・ヴォーリスは…

1880年、アメリカ合衆国カンザス州に生まれ、コロラドカレッジ哲学科を卒業の翌1905年来日。滋賀県立八幡商業高校の英語科教師に着任。1908年京都に建築設計監督事務所開業。子爵令嬢一柳満喜子と結婚。近江兄弟社の創立者の一人とし、“メンソレータム”を広く普及。また、YMCA活動を通じて熱心にプロテスタントの伝道を行い、賛美歌の作詞作曲、 Hammondオルガンを日本に紹介する等音楽への造詣も深かった。1941年日本国籍を取得し、一柳米来留(ひとつやなぎめりる)と名乗った。終戦後はGHQ総司令官マッカーサーと近衛文麿との仲介工作に尽力し、「天皇を守ったアメリカ人」(上坂冬子の同名論文『中央公論』1986年5月号)とも称される。日本に残るヴォーリスの名建築は関西に多く、武蔵豊岡教会は東日本に残る数少ないヴォーリス建築として建築史・文化史的に価値が高い貴重な文化財である。△ヴォーリスの代表的建築の一つである関西学院大学本館



# 「石川家の人々」を読む会

# 23

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 4. 4.

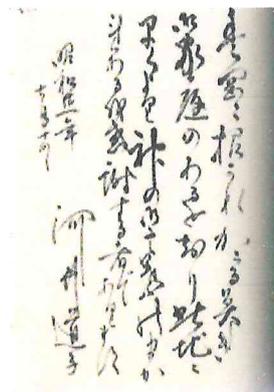
\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

石川家に伝わる“芳名帳”が語る **石川家を訪れた多彩な人物たち！-7-**

## 恵泉女学園の創始者・河井道(子) 昭和21年10月10日

豊岡大学にも来講したことのある戦前からの敬虔なキリスト教信仰に立つ教育者です。氏は伊勢神宮の神官の家に生まれながら、移住先の札幌で新渡戸稲造らの教えを受けてキリスト者に。1900年、フィラデルフィアに留学し、帰国後1912年より日本YMCA同盟総幹事に就任。1929年私立学校法人恵泉女学園を設立した。

敗戦後アメリカ大使館に一番弟子の一色ゆりとともに招かれ、昭和天皇の戦犯法廷への不起訴を進言したとして知られる。



△河井道(子)の記帳

## “大震災”“停電”で1回お休みしましたが… **次回(第23回)例会のお知らせ**

1. 期日 **4月22日(金)午後7:00**
2. 会場 **久保稲荷公民館・洋会議室A**
3. 内容 **「大地の園」(打木村治著)第2巻**
4. レポーター: **吉田 茂雄 氏**



\*お持ちでない方は「大地の園」を購入するか図書館等から借りて読んできてください。市立図書館をはじめ、小学校の図書室にあります。その他、石川製糸等に関する配布資料があれば20部程度お持ちください。

石川幾太郎が寄贈した1,000坪の土地に建つ、W. メレル・ヴォーリズの設計になる武蔵豊岡教会の保存への協力を目指す

## 「入間市の文化遺産をいかす会」が発足！多くの「…読む会」会員が参加！

西洋館と対をなして市のランドマークともなっている武蔵豊岡教会は、前号裏面の”特別号”でもご紹介した合衆国出身のキリスト者ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計による貴重な文化財的建築物です。教会員に協力して、市と市民のためにもその保存を目指すべく上記の会が発足しました。会長には本会会員で建築家の岡野巨氏が就任。幹事・会員に多くの本会会員が参加しています。講演会の企画等市民への啓発活動を現在企画中です。

**6月例会以後のテキスト・「遥かなる石川製糸」(絶版)全200頁程を1冊500余円(概算予定)で用意します。希望の方は次回例会(3/25金)に三浦さんまでお申し出ください。また欠席予定の希望者は、当日までに会計担当の三浦さん(2934-7711)までご連絡を！**

まだ、「大地の園」をお持ちでない方へ…①インターネットで“日本の古本屋”サイトを開いて、②中央上部の“古書検索”欄に書名(「大地の園」)を打ち込んで③“GO”をクリックすると全国の古書店に在庫する「大地の園」の一覧と価格が出ます。あとは④会員登録をしてサイト上で申し込むだけで本と振り込み用紙が送られて来ます。ハードカバー版と文庫版の違いや「天の園」を含む10巻か「大地の園」4巻かもご注意ください！石川嘉彦氏のようにネット・オークションも要チェック！

# 「石川家の人々」を読む会

# 24

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 4. 30.

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

石川本家に伝わる”芳名帳”が語る

## 石川家を訪れた多彩な人物たち1-8-



終戦まであと3ヵ月を切った昭和20年5月20日に来訪した高橋三吉大將は海軍の実力者。

3月の東京大空襲、4月の沖縄本島への米軍上陸後に「制大海(大海を制す)」と記帳する感覚には疑問を感じざるを得ないところだ。

△昭和20年5月20日記帳の高橋三吉海軍大將

4月の例会では…

### 吉田茂雄氏が“武陽銀行”の位置を推定

実際に歩いて調べた報告を報告者の吉田茂雄氏が行いました。「大地の園」2巻で堀中剛平(発智庄平がモデルと思われる)が頭取を務める“武陽銀行”(黒須銀行川越支店であろう、と三浦久美子氏が実証)の位置をテキストと川越の古地図を対照して推定して報告しました。その他、「新道の家」「大將陣の家」他「大地の園」に登場する場所をポイントした豊岡町黒須の貴重な地図も配付されました。

\*石川洋行や中武馬車鉄道の停車場を追加すればそのまま、文学ハイクの格好のアイテムになりますね。参考のため、裏面にコピーを印刷しておきました。

## 次回(第24回)例会のお知らせ

1. 期日 5月23日(月)午後7:00
2. 会場 久保稻荷公民館・洋会議室A
3. 内容 「大地の園」(打木村治著)第3巻
4. レポーター: 三浦 久美子 氏



石川幾太郎が寄贈した1,000坪の土地に建つ、W. メレル、ヴォーリスの設計になる武蔵豊岡教会の保存への協力を目指して

## 「入間市の文化遺産をいかに会」と共催で講演会を開催!

- 期日 5月8日(日)13:00開場 13:30開演
- 会場 黒須公民館 2F大会議室
- 講師 山形政昭(大阪芸術大学教授), 内田青蔵(神奈川大学教授)
- その他 聴講無料, 駐車場が狭いため**会員は石川洋行か“まうず”(西洋館西隣)の駐車場に停め徒歩で**

7月例会以後のテキスト・「遙かなる石川製糸」(絶版)全200頁程を1冊500余円(概算予定)で用意します。希望の方は次回例会(5/23月)に三浦さんまでお申し出ください。欠席予定のテキスト希望者は、5月中に会計担当の三浦さん(ALIT2934-7711)までご連絡を!

まだ、「大地の園」をお持ちでない方へ…①インターネットで“日本の古本屋”サイトを開いて、②中央上部の“古書検索”欄に書名(「大地の園」)を打ち込んで③“GO”をクリックすると全国の古書店に在庫する「大地の園」の一覧と価格が出ます。あとは④会員登録をしてサイト上で申し込むだけで本と振り込み用紙が送られて来ます。ハードカバー版と文庫版の違いや「天の園」を含む10巻か「大地の園」4巻かもご注意ください!石川嘉彦氏のようにネット・オークションも要チェック!

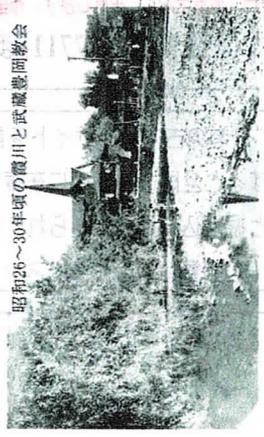
小説『大地の園』の舞台・豊岡



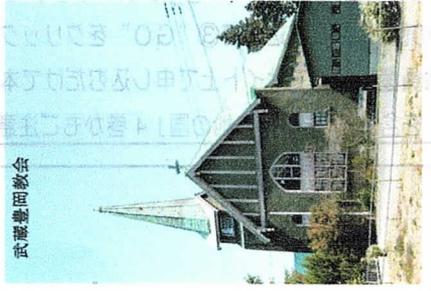
向橋から下流方向



向橋から上流方向・教会



昭和26～30年頃の霞川と武蔵豊岡教会



武蔵豊岡教会



大正初期の霞橋と山万味軒



石川組製糸所本店工場跡



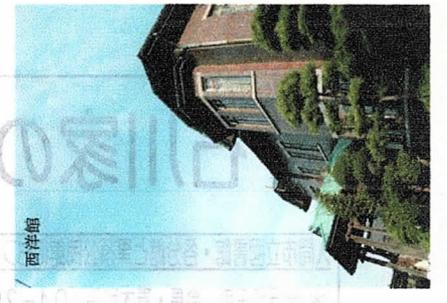
石川組製糸所本店工場と馬頭坂



馬頭にたてられた馬頭龍音と記念碑



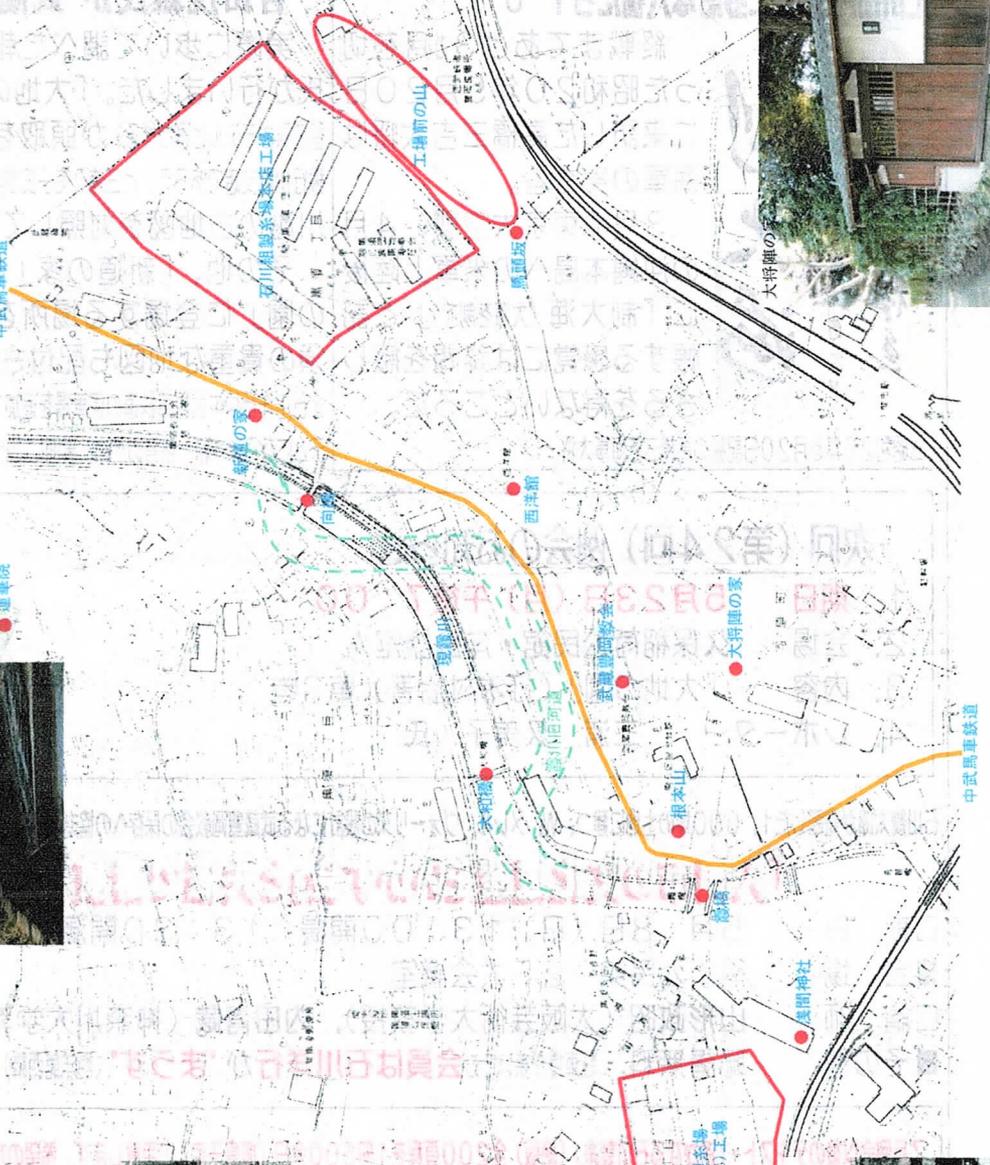
工場前の山



西洋館



大時鐘の家



# 「石川家の人々」を読む会

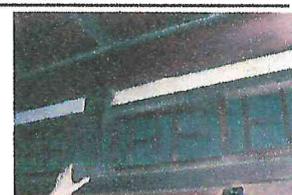
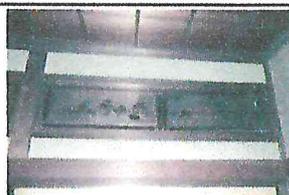
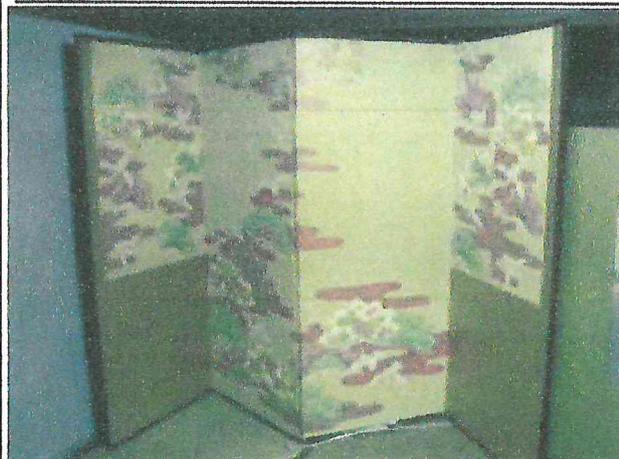
# 25

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 5. 26.

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)



△欄間には彫刻が…  
平屋ですが、長押から天井までが高く、畳から天井までは2.5m程もあろうかという贅沢な造りである

△明かり取りの飾り面格子



△お気に入りの着物をあしらった屏風

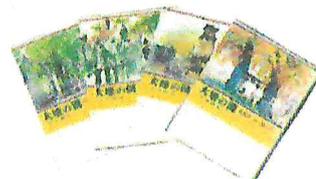
△立ち雛模様の火鉢

「大地の園」ヒロイン“まりちゃん”のモデル増島満喜さんのお宅（“大将陣の家”）には、“まりちゃん”らしさがいっぱい！ 5/14にお訪ねしました

5/23（月）の例会では三浦久美子会員が報告。「大地の園」第3部を元に、挿絵画家武部本一郎や作中のヒロイン“丸川まり”のモデル石川（後に増島）満喜さんと“大将陣の家”等について資料を紹介しながらの充実した報告でした。なお、吉田茂雄会員からは、宮寺地内にあった「石川農場」の位置を示す地図や都民の水瓶としての多摩湖のダム化により水没した旧縄竹地区住民（奇しくも“石川”姓が多かった）がその石川農場の土地約21町2反余歩を昭和5、6年に10万円で購入して、移住したことを示す史料が報告されました。\*「石川農場」が記載された大将10年測図の2万5千分の1地図「扇町屋」を裏面に印刷してあります。（吉田茂雄氏提供）

## 次回（第25回）例会のお知らせ

1. 期日 **6月24日（金）午後7：00**
2. 会場 **東町公民館**・洋会議室B 《いつもと違います！》
3. 内容 「大地の園」（打木村治著）第4巻
4. レポーター： 岡野真幸 氏



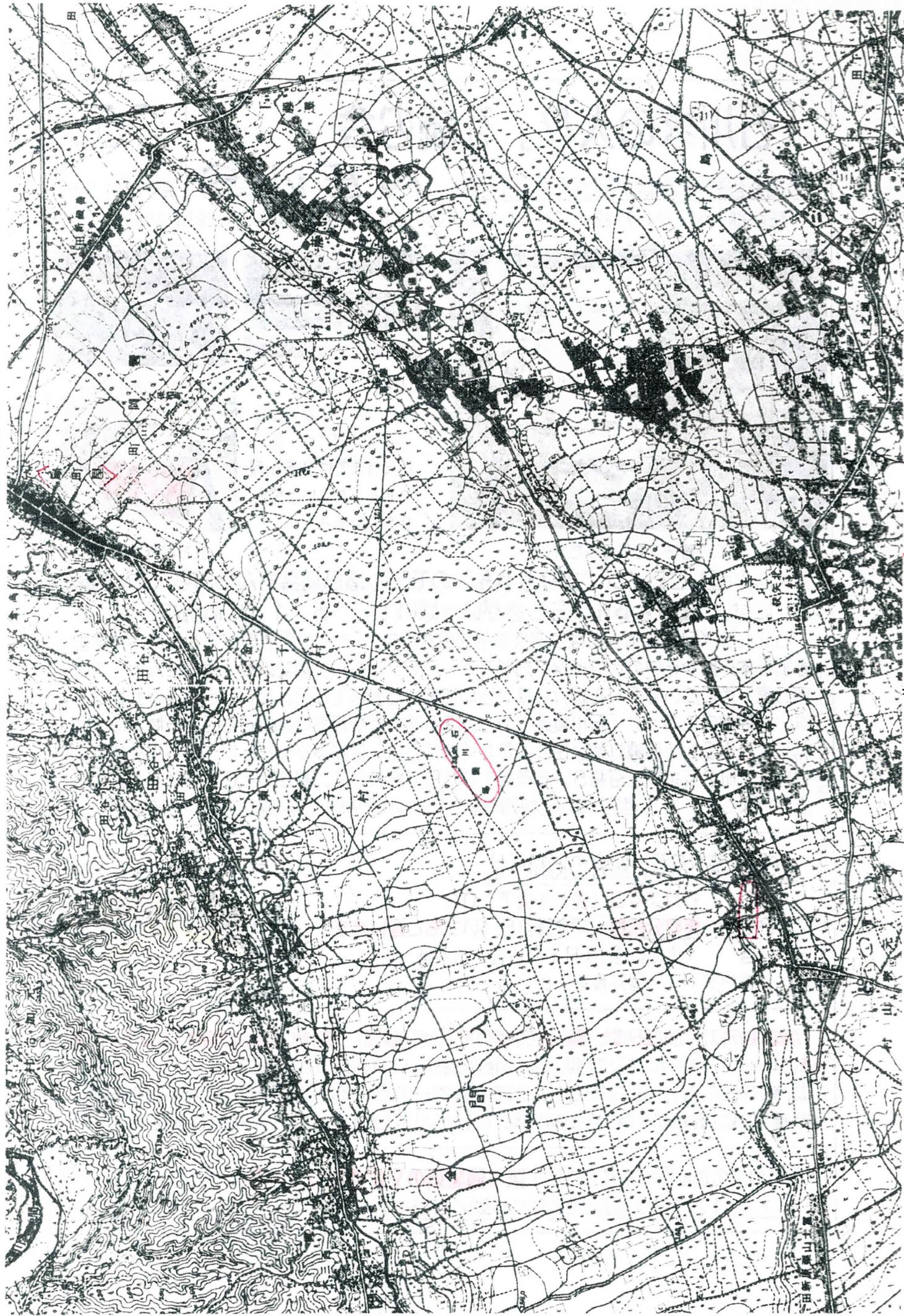
7月例会以後のテキスト・「暁かなる石川製糸」（絶版）全200頁程を1冊500余円（概算予定）で用意します。希望の方は次回例会（5/23月）に三浦さんまでお申し出ください。欠席予定のテキスト希望者は、5月中に会計担当の三浦さん（ALIT2934-7711）までご連絡を！

また、前号でもご紹介した5/8（日）に黒須公民館で行われた講演会「建築家ウォーリスと武蔵豊岡教会」（講師：山形政昭大阪芸大教授、内田青蔵神奈川大学教授）の鮮明な編集による全録画DVDが映山市在住の竹内のご厚意で、1,000円/1枚で入手可能です。希望者は上記三浦さんまで至急申し込みを。

入間市の文化遺産をいかす会主催・**第1回黒須の文化遺産ウォーク** へのお誘い

6/11（土）13：30 西武池袋線入間市駅コンコース集合／要申込み6/1より先着15名岡野（2965-1790）まで/費用300円

大正12年測図 2万5千分の一地図「青梅」 大正10年測図 昭和4年鉄道補入 2万5千分の一地図「扇町屋」



扇町屋

石川農場

二本不宿

高町

# 「石川家の人々」を読む会

# 26

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 6. 28.

＊発行責任者：会長・青木和子（04-2962-5776）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、染井佳夫（04-2936-3562）

石川本家に伝わる”芳名帳”が語る

## 石川家を訪れた多彩な人物たち！

-9-

### 東郷平八郎元帥の来豊！

日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を破って世界に知られた東郷平八郎元帥（フィンランドに”TOGO BEER”ができた程）来豊時の写真です。中央ブロックコート姿が東郷氏。右隣着物姿は石川幾太郎氏。撮影場所は



大正十一年六月十九日  
東郷平八郎  
来豊

本店工場大講堂玄関（轉せ）。来訪時には孫の源一郎氏も小学校から呼び返されたといひます。

### 次回（第26回）例会のお知らせ

1. 期日 **7月29日（金）午後7：00**
2. 会場 **久保稻荷公民館・洋会議室A《いつもの会場です！》**
3. 内容 「遙かなる石川製糸」（関口なつ著）P.1～38
4. レポーター： 染井佳夫 氏



### 前回例会の報告 素材：「大地の園」第4巻—知と愛の門—，報告者：岡野真幸氏

報告では4巻のプロットに沿って、そこに登場する”東鳴亭”のモデル「東雲亭」とその母体であった「畑屋」（現在は鰻屋）や良輔と久仁子の結婚式・披露宴が行われた九段教会・上野”西洋軒”のモデルである「精養軒」等について調査し、写真とともに紹介がなされました。

また、作中における保のマドンナである”まりちゃん”のモデルだった（川越工場の）石川仁平の娘・満喜が住んだ「大将陣の家」についても写真や図版とともに紹介がなされました。

さらにサプライズ・ゲストとして満喜さんの孫にあたる間山（増島）みどり氏が来場、氏はスポーツライターとして活躍中のご主人はロイター通信所属の戦場写真家で釧路湿原での動物写真家としても有名。「大将陣の家」での生活をなつかしそうに語られました。

12月例会（兼忘年会）での話し合いで、現在の残金がなくなりかけているので、下記の金額を年会費として集金したい旨の提案があり、諒承されました。事務費（連絡通信費等）・報告者の資料代（コピー代等）に充てられます。未納の方は快慶の三浦さんまでお願いします。

記

**年会費：2,000円**

＊7月例会以後のテキスト・「遙かなる石川製糸」（総版）全200頁程を1冊500余円（概算予定）で用意します。希望の方は三浦さんまでお申し出ください。

# 「石川家の人々」を読む会

# 27

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 7. 31.

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

## 「遙かなる石川製糸」の著者・関口なつ氏の生家を訪ねて！

「遙かなる石川製糸」を著した飯能市大字南にある関口なつ氏の生家をお訪ねしてきました。

関口なつ氏は大正4年生まれ。吾野村立南尋常小学校を卒業後、昭和4年から石川組製糸川越工場に勤め、戦後は寮監として若い後輩達を指導された方です。平成13年に前掲書



を出版、同18年ご逝去されました。△築200年とされる関口なつ氏の生家 なつ氏と潔平氏の墓・右下

### 次回 (第27回) 例会のお知らせ

1. 期日 **8月29日 (月) 午後7:00**
2. 会場 **久保稲荷公民館・洋会議室A**
3. 内容 「遙かなる石川製糸」(関口なつ著) P.49 ~ 83
4. レポーター: **吉田 茂雄 氏**



### 前回例会の報告 素材：「遙かなる石川製糸」(~p. 48) / 報告者：染井佳夫氏



報告はパワーポイントを用いた映像でおこなわれ、①関口なつ氏の生家や墓誌、ご親族②卒業した南尋常小学校の跡地や13歳のなつ氏が村を出て川越に至った道筋(で見た建物や交通機関)等多数の写真を紹介するとともに③長兄がそのまま持たせてくれた契約金の5円が日当9日分位であったこと、



△同行者と落ち合った村の神社(「権五郎神社」) また同年寿屋から発売されたウィスキー”白ラベル”1本とほぼ同額であったこと、あるいは賃金と米価の推移を比較する中で「女工が近代的な意味での労働者」だったかどうか、の問題を提起しました。△昭和4年に4円50銭た。最後に「女工哀史」や「ああ野麦峠」に至るまでの諸資料と研究史を概観して発表された”白ラベル”で報告を了えました。レポートの残が5部ほどあります。希望者は染井までご連絡をどうぞ。

年会費未納の方、資料・テキスト(コピー)等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！  
記

- ① 年会費：2,000円
- ② テキスト「遙かなる石川製糸」：500円
- ③ 内木村治著(石川信夫との交流を通して彼の心を描く)「原罪歌の人」(女工生活の一面を描く)「支流を集めて」：2冊で300円以内の予定、どちらか1冊希望でも可(費用は頁数により差があります。)

# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

# 28

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 9. 4.

\* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

齋藤・染井会員の夏休み訪問記

## 野麦峠 (野麦峠の館) と岡谷蚕糸博物館を訪ねてきました!

8月9日 (火)、2人で野麦峠史料館に

岡谷市立

蚕糸博物館

堀野館長さん  
をお訪ねしまし  
た。



△野麦峠にある政井みね記念碑  
◁資料館玄関で堀野館長と齋藤会員

御法川式多条繰糸機△

▷諏訪式座繰機

8月11日 (木)

野麦峠

に訪問しました。



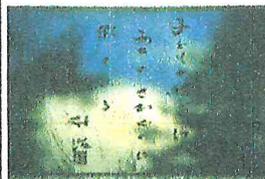
## 次回 (第28回) 例会のお知らせ

1. 期日 **9月26日 (月) 午後7:00**
2. 会場 **久保稲荷公民館・洋会議室A**
3. 内容 **高校生が「…読む会」に参加して**
4. 発表者：**岡野 真幸 氏**



## 前回例会の報告 素材：「遙かなる石川製糸」(～p. 83) / 報告者：吉田茂雄氏

報告はつくば市内の蚕影神社と狭山，飯能市内の分社へのフィールド・ワークで得た資料や写真も含めて行われました。倉掛峠の開鑿工事の写真も提示され、なつが帰郷した際に通った時にはまだ工事がなされていなかったため、山道を越えて行かざるを得なかったことが分かりました。また、家を出てから勤めた飯能市内の製糸会社を当時を再現した地図をもとに入子製糸工場と推定しました。



さらに、子ノ権現に建てられた打木村治文学碑の除幕式記念誌中に氏  
◁打木村治氏の文学碑 〆の作品年譜があること等も紹介されました。

年会費未納の方、資料・テキスト(コピー)等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！  
記

- ① 年会費：2,000円 ② テキスト「遙かなる石川製糸」：500円 ③ 内木村治著(石川信夫との交流を通して彼の心を描く)「原罪歌の人」(女工生活の一面を描く)「支流を集めて」：2冊で300円以内の予定，どちらか1冊希望でも可(費用は頁数により差があります。) \* 岡谷市立蚕糸博物館紀要のバックナンバーのご希望は染井まで(1冊600円)

# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

# 29

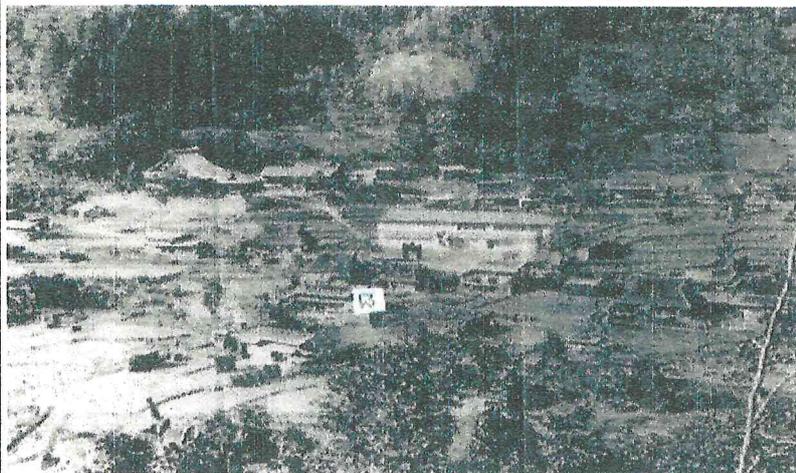
入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 9. 29.

\* 発行責任者：会長・青木和子(04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司(090-2326-7517), 染井佳夫(04-2936-3562)

## 写真に見る「ああ野麦峠」の政井みねの家—野麦峠の館資料より— 「…



山本茂実は360人にも及ぶ元女工さんを訪ねて『ああ野麦峠』というすばらしい記録文学にまとめました。…みねさんをセイタに背負って峠を越えた兄の辰次郎さんは私は知っています。水力利用の製材所を営んだり、田舎にはハイカラな電気モーターを利用した精米所を営んでいました。もしかしたらみねさんも新進気鋭の気風を持ちあわせていたので…「100円女工」という模範工になれたのかも…

△明治42年頃の飛騨市河合町(現)角川の風景と政井みねの家(左の先) (写真・文とも野麦峠の館堀野館長作成資料より)

### 次回(第29回)例会のお知らせ

1. 期日 **10月28日(金)午後7:00**
2. 会場 **久保稻荷公民館・洋会議室A**
3. 内容 「高校生が「…読む会」に参加して
4. 発表者 **岡野 真幸 氏**

発表後生涯学習フェスティバルの展示・役割分担等について話し合う予定です。

### 前回例会の報告 素材：武蔵豊岡教会と旧石川組製糸西洋館の建築 報告者：岡野 巨 氏

発表予定者の岡野真幸氏が急な欠席のため、代わりに岡野巨氏が表記の報告をされました。武蔵豊岡教会の建築についてディテールを写真とともに解説する興味深いものでした。

また、明治学院の教会堂や川越教会(聖公会)等との比較から、設計者ヴォーリズや建築にあたった関根平蔵の心理まで推測するという面白い報告でした。玄関上部の唐破風様の飾り梁や天井近くの花頭窓に似たカーブを持つ漆喰製アーチ等ディテールの意匠に見られる”和風”への傾斜の指摘は納得できるものでした。その原因等残された課題の解決が楽しみです。

年会費未納の方、資料・テキスト(コピー)等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！  
記

- ① 年会費：2,000円
- ② テキスト「遙かなる石川製糸」：500円
- ③ 内木村治著(石川信夫との交流を通して彼の心を描く)「原罪歌の人」(女工生活の一面を描く)「支流を集めて」：2冊で300円以内の予定、どちらか1冊希望でも可(費用は頁数により差があります。)

会として、以下の会に参加します。準備・参観にスケジュールを空けて、ご参加を！

①久保稻荷公民館まつり 11/5・18:00～,11/6・9:00～ ②生涯学習フェスティバル12/3準備 12/4 9:45～15:45於産文センター

# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

# 30

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

# NEWS

発行：2011. 11. 5.

\* 発行責任者：会長・青木和子（04-2962-5776）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、染井佳夫（04-2936-3562）

## 今年は「久保稲荷公民館まつり」「生涯学習フェスティバル」に参加します！



今年は「久保稲荷公民館まつり」（11/5,6）と入間市生涯学習フェスティバル（12/4・産業文化センター）に会として参加することになりました。後者へは、「入間市の文化遺産をいかす会」と共同での参加となります。

準備作業（久保稲荷公民館11/5・13:30～）、（産文センター12/3・9:30～）または、当日の展示コーナーの参観をお願いします。

△生涯学習フェス展示物より

### 次回（第31回）例会のお知らせ

1. 期日 **11月24日（木）午後7：00**
2. 会場 **久保稲荷公民館・洋会議室A**
3. 内容 **生涯学習フェス展示他の準備作業**



### 前回例会の報告 素材：高校生がOA入試でのプレゼンに「石川組製糸」を取り上げて

報告者：岡野真幸氏

大学のOA入試で「石川組製糸と水利」をプレゼンのテーマにとりあげた岡野真幸会員がパワーポイントとプロジェクターを用いて再現発表をしました。地元に着した、問題意識の明確なプレゼンは、一般の受験生のレベルを超えたものでした。面接に当たった教官も強い関心を示していたとのことで、志望の地理学科入学後の成長・活躍が楽しみです。

また、狭山市在住の住川氏作成による「旧石川組製糸西洋館」「武蔵豊岡教会」に関するナレーションとBGM入りのDVDが石川嘉彦氏により、10月23、24日に行われたヴォーリスネットワークに関する映像が岡野亘氏により上映されました。

年会費未納の方、資料・テキスト（コピー）等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！

記

- ① 年会費：2,000円
- ② テキスト「遙かなる石川製糸」：500円
- ③ 内木村治著（石川信夫との交流を通して彼の心を描く）「原罪歌の人」（女工生活の一面を描く）「支流を集めて」：2冊で300円以内の予定、どちらか1冊希望でも可（費用は頁数により差があります。）